

嬉野市新庁舎建設工事に対する回答②

(見積に関する質問への回答)

番号	質問事項及び要旨	回答
1	(S-002) コンクリート強度のスラブにおいて、基礎、基礎梁は15、18となっておりますが15と考えて宜しいでしょうか。 又、地上部コンクリートのスラブは15と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	18とする。 地上部も18とする。
2	(A-39、S-003) 止水板において、仕様がA-39図では早川ゴムスポンジ、S-003図では水膨張性止水材と相違しています。水膨張性止水材と考えて宜しいでしょうか。 又、範囲は蓄熱層外周及びピット全体外周部と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	止水板仕様、範囲とも、ご推察通りでよろしい。
3	(A-26-1～2、A-27-1～2) 数量表で一部、塗装指定の器具あります。平面図で凡例の⑤⑥⑧のフロアが塗装対象という認識でよろしいでしょうか。	よろしい。
4	(E-55、E-53) 照会記号で平面図では、D16とありますが、姿図に記載がありません。DL6として読み替えてよろしいでしょうか。	よろしい。
5	(E-56 E-53) 照会記号で平面図では、LE-510とありますが、姿図に記載がありません。LE12-510として読み替えてよろしいでしょうか。	よろしい。
6	(E-08) コンデンサ・リアクタンスの容量が結線図と数量表で異なります。単線結線図が正でよろしいでしょうか。	よろしい。
7	(E-101) 今回工事に対象の外構工事範囲について、憩いテラス・渡り廊下とし外構1区、2区、文化センターは、工事範囲外としてよろしいでしょうか。	憩いテラス、渡り廊下、文化センターを本工事とし、外構1区、2区は工事範囲外とする。
8	(S-002) 特記仕様書(建築構造)その2 6コンクリート工事 ①コンクリートの種類及び強度 普通コンクリートの設計基準強度で適用範囲は以下の様と考えて宜しいでしょうか。 □24(N/mm ²) 地上躯体 : デッキスラブ・1階以外の腰壁・機械基礎 □30(N/mm ²) 基礎、基礎梁 : 1階床スラブ・1階腰壁	よろしい。
9	(S-002) 特記仕様書(建築構造)その2 6コンクリート工事 ①コンクリートの種類及び強度スラブの位置の基礎、基礎梁、土間スラブの所要スラブ15、18(cm)は18cmを適用と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
10	(S-003) 特記仕様書(建築構造)その3 6コンクリート工事 ⑨無筋コンクリート スラブの15cm又は18cmは15cmを適用と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
11	(S-002) デッキスラブコンクリートにひび割れ防止対策として膨張材を見込むと考えて宜しいでしょうか。	不要。
12	(S-019・044) 鉄骨部材リスト DSスラブ 段差要領の補強要領が不明です。段差補強要領はユーフェロデッキ設計標準仕様書に倣うと考えて宜しいでしょうか。	S044に表記。
13	(S-019) 上記の場合、主筋・配力筋方向の段差部納まりは以下の様と考えて宜しいでしょうか。 □コーナー補強筋 : D13 □追加繋ぎ筋 : デッキスラブ 配筋合わせ	S044に表記。
14	(S-039・046・048・049) スラブ 段差補強要領が基礎小梁・基礎スラブリストと雑配筋図の2箇所に記載されています。それぞれ以下箇所に適用と考えて宜しいでしょうか。 □基礎小梁・基礎スラブリスト : 鉄骨階段詳細図 a部詳細図のサワ脚部段差 □雑配筋図 : 1階スラブ 段差	よろしい。

15	<p>(S-023、A-21・39)</p> <p>ピット階平面図で下記範囲は、指示が見当たりません。配管ピットと考えて宜しいでしょうか。又、配管ピットではない場合、土間スラブ符号・地業等併せて御指示下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>X1-X2間、Y3-Y3+2400</p> <p><input type="checkbox"/>X7-X8間、Y1-Y2 EVピットの上下</p> <p><input type="checkbox"/>X1-X2間、Y1-Y2 消火水槽の右側</p>	<p><input type="checkbox"/>X1-X2間、Y3-Y3+2400はデッドスペース</p> <p><input type="checkbox"/>X7-X8間、Y1-Y2 EVピットの上下はデッドスペース</p> <p><input type="checkbox"/>X1-X2間、Y1-Y2 消火水槽の右側は配管ピット</p>
16	<p>(S-101、A-39)</p> <p>上記質疑が正の場合、以下の箇所に600φ(人通路)を見込むとと考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>Y3通り、X1-X2間 FG4 1箇所</p> <p><input type="checkbox"/>X1-X2間、Y1-Y2間 X1-X2間のFB1 1箇所</p> <p><input type="checkbox"/>X7-X8間、Y1-Y2間 FB4 2箇所</p>	<p>デッドスペースは、捨て穴をスラブに設け、型枠脱却後塞ぐこと。</p> <p><input type="checkbox"/>X1-X2間、Y1-Y2間 X1-X2間のFB1には1箇所に600φ人通路を設けてください。</p>
17	<p>(S-024・032・038・101)</p> <p>スラブ図(1) Y3通り、X4-X5間に600φ(人通路)がありますが、1階伏図・軸組図(3)・部材リストよりFG1Bは浮き梁の為、不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
18	<p>(S-101・102)</p> <p>スラブ図(1)・基礎梁スラブ補強一覧表 下記の梁の補強要領が不明です。以下の様に考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>FG12B 600φ：FG12Aに倣う</p> <p><input type="checkbox"/>FG12C 600φ：FG12Aに倣う</p> <p><input type="checkbox"/>FB2A 600φ・150φ・100φ：FB2に倣う</p>	<p>よろしい。</p>
19	<p>(A-39)</p> <p>ピット階平面詳細図・蓄熱槽詳細図 凡例のオーバーフロー管VU100φ(スラブ125φ)のO.F.が下段中央の断面図のX3通りに1箇所有りますが、ピット階平面詳細図にて確認出来ません。設置箇所13。(S-003、A-16・39)</p> <p>耐圧版打継部に使用する止水板の仕様が下記の様に相違しています。ピット階平面詳細図・蓄熱槽詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>特記仕様書(建築構造)その3：水膨張性コンクリート打継止水材 寸法w20×t10</p> <p><input type="checkbox"/>一般共通事項・外部仕上表：塩ビ止水板6×200または水膨張系止水材10×20</p>	<p>オーバーフロー管は北面沈砂層から第一桷へ接続しているT-125φVPのみを建築工事、他は設備工事とする。設置箇所は設備図参照。</p>
20	<p>(S-003、A-16・39)</p> <p>耐圧版打継部に使用する止水板の仕様が下記の様に相違しています。ピット階平面詳細図・蓄熱槽詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>特記仕様書(建築構造)その3：水膨張性コンクリート打継止水材 寸法w20×t10</p> <p><input type="checkbox"/>一般共通事項・外部仕上表：塩ビ止水板6×200または水膨張系止水材10×20</p> <p><input type="checkbox"/>ピット階平面詳細図・蓄熱槽詳細図：早川コム/スパンシル9×30同等品</p>	<p><input type="checkbox"/>特記仕様書(建築構造)その3：水膨張性コンクリート打継止水材 寸法w20×t10 を正とする。</p>
21	<p>(A-39)</p> <p>確認ですが、止水板の施工範囲は、ピット階平面詳細図・蓄熱槽詳細図より、蓄熱槽周りにのみ必要とし、配管ピット・他水槽周りには不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>蓄熱層周りおよび外周部に見込んでいる。</p>
22	<p>(A-39)</p> <p>ピット階平面詳細図・蓄熱槽詳細図 凡例の※特記なき限り、ピット内水勾配は1/100勾配とすると有りますが配管ピットの水の流れ(釜場・通水管の配置)が把握できません。配管ピットの水勾配は不要と考えて宜しいでしょうか。水勾配を見込む場合、排水経路を御指示下さい。</p>	<p>配管ピットは水勾配は不要だが、30mmモルタルを見込み、各配管ピットの内周に排水溝を幅300mm設けること。</p> <p>人通路600φのある箇所は通気管φ100VP×2、通水管φ100VP(半割)×2を設けること。</p>
23	<p>(S-024・039)</p> <p>基礎小梁・基礎スラブリスト 土間コンクリート配筋図がありますが1階伏図で使用範囲が不明です。本体計上は不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>土間コンクリートは建築工事ではなく、外構工事にある。ただし、受け用の片持ちスラブは外周部全てに設けること。片持ち部の配筋はS-39を参照。</p>
24	<p>(S-002・039)</p> <p>上記質疑で土間コンクリートの使用がある場合、土間コンクリートの仕様が不明です。仕様を御指示下さい。</p>	<p>土間コンクリートについてはL-05を参照。</p>
25	<p>(A-29-1・29-2、S-024)</p> <p>矩計図(3)東面・矩計図(4)西面 X8通り・X1通りに外壁根廻り受けに基礎梁側面の増打ちが有りますが、1階伏図では片持ちスラブFCS1と相違しています。1階伏図FCS1のみ見込むとと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>FCS1のみ見込むとしてよろしい。</p>

26	(S-026、A-19・37) 3階伏図 X2・X3・Y2・Y3間(サーバ-室部分)のスラブレベルが3FL-200となっておりますが、内部仕上表(3)・3階平面詳細図では3FL-100と相違しています。3FL-100を正と考えて宜しいでしょうか	3FL-200を正とする。
27	(A-28-1) 矩計図(1)南面 南面矩計図 4階屋根(4-1)の水勾配増打ちコンクリートの増打ち厚さt=70mm以上の場合、以下の補強を見込むとと考えて宜しいでしょうか。 □D10@200 シングル筋	よろしい。
28	(A-24・29-2・34) 矩計図(4)西面 西面矩計図と階段室(1)詳細図 B-B断面図で、X1通り2~4階腰壁高さが下記の様に相違しています。西立面図より矩計図(4)西面 西面矩計図のFL+491を正と考えて宜しいでしょうか。 □矩計図(4)西面 西面矩計図 X1通り：FL+491 □階段室(1)詳細図 B-B断面図 X1通り：FL+900程度	FL+491を正と考えてよろしい。
29	(A-25、S-028) 断面図 A-A断面図のX6通り、R1FLにスラブと立上壁が有りますが、R階伏図にて確認出来ません。納まりを御指示下さい。	[3Do-3] 屋上PS立上り 詳細図(2)とS-046の腰壁配筋図を参照。
30	(S-040) 鉄骨柱・鉄骨大梁リスト 鉄骨柱リスト C11で、主筋の本数が下記の様に相違しています。指示本数を正と考えて宜しいでしょうか。 □指示本数 18本 □図示本数 16本	よろしい。
31	(S-040) 鉄骨柱・鉄骨大梁リスト 露出柱脚保護コンクリート要領図の鉄骨柱とコンクリートとの絶縁材として下記を見込むとと考えて宜しいでしょうか。 □エラストマー t=10	よろしい。
32	(S-044) 鉄骨部材リスト DSスラブ 先端要領の片持スラブ部の配筋要領は、デッキスラブリストのフラットデッキ捨て型枠床版工法の配筋要領に倣うとと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
33	(S-044) 上記が正の場合、片持スラブ底はt=1.6(SS400)の鋼板を使用すると考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
34	(S-046、A-103) 雑配筋図 設備基礎配筋要領図 (注)5. に記載のアンカーボルトM16(SS400)は以下の様に考えて宜しいでしょうか。 □アンカーボルト長さ L=400 □部分詳細図外部(3) 3Do-2 屋外-設備機械基礎詳細図・リストのH鋼(200*200)も含む	よろしい。
35	(S-049) 鉄骨階段詳細図(2) 屋外階段詳細図のKP2柱脚の基礎の高さは、H=600と考えると宜しいでしょうか。	よろしい。
36	(S-701、A-100-2) 渡り廊下の基礎部材が、渡り廊下詳細図(2) 矩計詳細図(F1~F5)と渡り廊下基礎構造図(F701~F705)で相違しています。渡り廊下基礎構造図(F701~F705)を正と考えて宜しいでしょうか。	構造図を正としてよろしい。
37	(S-040・701) 渡り廊下詳細図(2) 鉄骨柱の根巻き部の配筋要領は、鉄骨柱・鉄骨大梁リスト露出柱脚保護コンクリート要領図に倣うとと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
38	(S-701、L-00) 渡り廊下のコンクリート強度が下記の様に相違しています。渡り廊下 基礎構造図を正と考えて宜しいでしょうか。又、スラブはS-15と考えると宜しいでしょうか。 □渡り廊下 基礎構造図 Fc21 □外構特記仕様書 コンクリート工事 Fc24-S12	よろしい。
39	(S-004) 防錆塗装は、素地こしらえはC種、塗料の種別はA種 JIS K 5674、塗装回数は工場2回 塗料色は通常色(赤錆色)と考えると宜しいでしょうか。	よろしい。

40	(S-025~027・044) 2階伏図 X4~X6間、3階伏図 X5~X6間、4階伏図 X2~X3間にB35Vの記載がありますが、鉄骨部材リストに見当たりません。下記のように考えて宜しいでしょうか。 □部材 B35に倣う □仕口 B30Vに倣う	部材はB35に倣ってよい。 仕口は、G.PL-16 HTB 2x4-M20とする。
41	(S-025~027・044) 2~4階伏図 Y1-2150・Y3+2150通り X1~X1-700にCB40Aの記載がありますが、鉄骨部材リストに見当たりません。B40Vに倣うと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
42	(S-025・047) 2階伏図 ㊸-㊸sec CB150下部はCB150、庇部鉄骨要領図 CB150要領図 CB150下部はCB30Aと相違しています。2階伏図 ㊸-㊸secのCB150を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
43	(S-025・047) CB150・CG2部のP150の取付位置が2階伏図 X8通り・㊸-㊸secは梁下、2階伏図 ㊸-㊸・㊸-㊸sec・庇部鉄骨要領図 CB150要領図・CG2要領図は梁横と相違しています。2階伏図 ㊸-㊸・㊸-㊸sec・庇部鉄骨要領図 CB150要領図・CG2要領図の梁横を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
44	(S-028・030~032) R階伏図(1) Y1~Y3通り X6~X7間 大梁G2の継手位置がR階伏図(1)はY2通りのみ、軸組図(1)~(3)はY1~Y3通り全てと相違しています。軸組図(1)~(3)のY1~Y3通り全てを正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
45	(S-028・035) R階伏図(1) X6通りY1・Y3のCG4がR階伏図(1)には記載がありますが、軸組図(6) X6通り軸組図にて確認できません。R階伏図(1)を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
46	(S-028・032・044・050、A-23) R階伏図(1) 軸組図(3) Y3 X3通りに目隠し壁基礎がありますが、目隠し壁詳細図、4・R階平面図、屋根伏図では確認できません。R階伏図(1)、軸組図(3)の基礎ありを正と考えて宜しいでしょうか。その場合、柱脚はP150に倣うと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
47	(S-040) 確認ですが、鉄骨柱・鉄骨大梁リスト 鉄骨大梁リスト R階 G2の中央フランジ厚が全断面より厚いようですが、宜しいでしょうか。	よろしい。
48	(S-044) 鉄骨部材リスト B150 備考の副接合 継手 ウェブ のボルトは@75と考えて宜しいでしょうか。	SCSS(柱継手標準図)に準拠すること。
49	(S-048) 鉄骨階段詳細図(1) KP1のレクシオンピ-スは下記のように考えて宜しいでしょうか。 □GPL-9 150×150 □添板 PL-6 100×400 □ボルト 2-M20	よろしい。
50	(A100-1・2) 渡り廊下詳細図(1) 屋根伏図 小屋伏図 渡り廊下1側 手前右側にG2の記載がありますが、渡り廊下詳細図(2) 仕様にてG2のリストが確認できません。G1と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしい。
51	(A100-2) 渡り廊下詳細図(2) 仕様 渡り廊下1・2 柱(□150×150×6)の材種はBCR295、渡り廊下1 梁・桁(H-250×125×6×9)の材種はSS400と考えて宜しいでしょうか。	以下と考えること。 ・柱(□-150x150x6) : STKR 4 0 0 ・梁(H-250x125x6x9) : S S 4 0 0
52	(A100-2) 渡り廊下詳細図(2) 渡り廊下1・2 仕様 軒樋に[-150×40×2.3の記載がありますが、規格外の為[-150×50×2.3と読み替えて宜しいでしょうか。	St-PI曲げ加工 : -150×40×2.3と見込むこと。

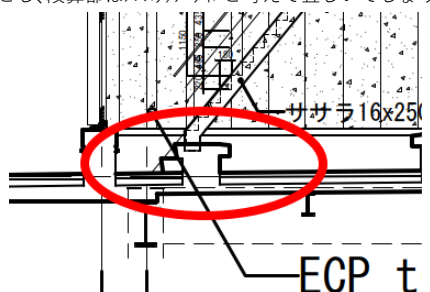
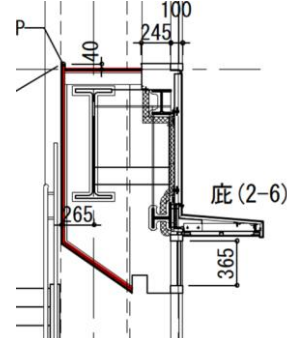
53	<p>(A100-2)</p> <p>渡り廊下詳細図(2) 渡り廊下1・2 部材ピン接合のガセットプレート・ボルトの詳細が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <p>渡り廊下1</p> <p><input type="checkbox"/> B1(H-250×125×6×9) G.PL-9 HTB 2-M20</p> <p><input type="checkbox"/> 屋根受(PL-2.3加工) G.PL-4.5 BN 2-M16</p> <p><input type="checkbox"/> 屋根受(□-60×60×3.2) 2G.PL-4.5 BN 2-M16</p> <p><input type="checkbox"/> 天井受(□-60×30×2.3) 2G.PL-4.5 BN 2-M16</p> <p><input type="checkbox"/> 軒樋([-150×40×2.3) G.PL-4.5 BN 2-M16</p> <p>渡り廊下2</p> <p><input type="checkbox"/> B2(LH-200×100×3.2×4.5) G.PL-6 HTB 2-M16</p> <p><input type="checkbox"/> B3(LH-200×100×3.2×4.5) G.PL-6 HTB 2-M16</p> <p><input type="checkbox"/> 屋根受(PL-2.3加工) G.PL-4.5 BN 2-M16</p> <p><input type="checkbox"/> 天井受(□-60×30×2.3) 2G.PL-4.5 BN 2-M16</p> <p><input type="checkbox"/> 軒樋([-150×40×2.3) G.PL-4.5 BN 2-M16</p>	<p>以下と考えること。</p> <p>渡り廊下1</p> <p><input type="checkbox"/> B1(H-250×125×6×9) G.PL-9 HTB 2-M16</p> <p><input type="checkbox"/> 屋根受(PL-2.3加工) 曲げ加工品 中ボルトM8@1000内外</p> <p><input type="checkbox"/> 屋根受(□-60×60×3.2) L-50×50×4 1-M12</p> <p><input type="checkbox"/> 天井受(□-60×30×2.3) G.PL-3.2 中ボルト1-M12</p> <p><input type="checkbox"/> 軒樋([-150×40×2.3) 曲げ加工品 中ボルト M8@750内外</p> <p>渡り廊下2</p> <p><input type="checkbox"/> B2(LH-200×100×3.2×4.5) G.PL-6 HTB 2-M16</p> <p><input type="checkbox"/> B3(LH-200×100×3.2×4.5) G.PL-6 HTB 2-M16</p> <p><input type="checkbox"/> 屋根受(PL-2.3加工) 曲げ加工品 中ボルトM8@1000内外</p> <p><input type="checkbox"/> 天井受(□-60×30×2.3) G.PL-3.2 中ボルト1-M12</p> <p><input type="checkbox"/> 軒樋([-150×40×2.3) 曲げ加工品 中ボルト M8@750内外</p>												
54	<p>(S-001・設計書-P8)</p> <p>コンクリート工事 捨てコンクリートは、特記仕様書(建築構造)その1 4地業工事⑩捨てコンクリート地業でセメントの種類は高炉セメントB種と記載ありますが、設計書に記載が見当たりません。高炉セメントB種を見込むと考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>												
55	<p>48. (S-044・設計書-P22)</p> <p>鉄骨工事(床版) ニューフェローデッキ(DS1~DS3)のデッキタイプが設計書と鉄骨部材リストのデッキタイプリストで相違しています。鉄骨部材リストのデッキタイプリストを正と考えると宜しいでしょうか。</p> <table border="0" data-bbox="199 996 917 1131"> <tr> <td></td> <td>設計書</td> <td>デッキタイプリスト</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> DS1</td> <td>EB80-110</td> <td>→ EB80-110</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> DS2</td> <td>EB80-110</td> <td>→ B80-110</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> DS3</td> <td>B110-140</td> <td>→ B80-110</td> </tr> </table>		設計書	デッキタイプリスト	<input type="checkbox"/> DS1	EB80-110	→ EB80-110	<input type="checkbox"/> DS2	EB80-110	→ B80-110	<input type="checkbox"/> DS3	B110-140	→ B80-110	<p>よろしい。</p>
	設計書	デッキタイプリスト												
<input type="checkbox"/> DS1	EB80-110	→ EB80-110												
<input type="checkbox"/> DS2	EB80-110	→ B80-110												
<input type="checkbox"/> DS3	B110-140	→ B80-110												
56	<p>(S-49・設計書-P25)</p> <p>鉄骨工事(屋外階段) 柱底均しモルタルが下記のように相違しています。</p> <p>鉄骨階段詳細図(2)の屋外階段詳細図を正と考えると宜しいでしょうか。</p> <table border="0" data-bbox="199 1265 917 1355"> <tr> <td></td> <td>設計書</td> <td>屋外階段詳細図</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> t50 185×350</td> <td>→</td> <td>t50 135×300</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> t50 400×400</td> <td>→</td> <td>t50 350×350</td> </tr> </table>		設計書	屋外階段詳細図	<input type="checkbox"/> t50 185×350	→	t50 135×300	<input type="checkbox"/> t50 400×400	→	t50 350×350	<p>モルタルは山部分の見付け幅をベースプレートのサイズ+50として計上しているので、以下と考えること。</p> <p>t50 185×350</p> <p>t50 400×400</p>			
	設計書	屋外階段詳細図												
<input type="checkbox"/> t50 185×350	→	t50 135×300												
<input type="checkbox"/> t50 400×400	→	t50 350×350												
57	<p>(S-048・設計書-P28)</p> <p>鉄骨工事(屋内階段(1)) 柱底均しモルタルが下記のように相違しています。</p> <p>鉄骨階段詳細図(1)の屋内階段(1)詳細図を正と考えると宜しいでしょうか。</p> <table border="0" data-bbox="199 1467 917 1556"> <tr> <td></td> <td>設計書</td> <td>屋内階段(1)詳細図</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> t50 185×535</td> <td>→</td> <td>t50 135×485</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> t50 350×350</td> <td>→</td> <td>t50 300×300</td> </tr> </table>		設計書	屋内階段(1)詳細図	<input type="checkbox"/> t50 185×535	→	t50 135×485	<input type="checkbox"/> t50 350×350	→	t50 300×300	<p>鉄骨階段詳細図(1)の屋内階段(1)詳細図を正としてよろしいが、モルタルについては山部分の見付け幅をベースプレートのサイズ+50として考えること。</p>			
	設計書	屋内階段(1)詳細図												
<input type="checkbox"/> t50 185×535	→	t50 135×485												
<input type="checkbox"/> t50 350×350	→	t50 300×300												
58	<p>(S-049・設計書-P29・30)</p> <p>鉄骨工事(屋内階段(2)) アンカーボルト・アンカーボルト取付・柱底均しモルタルが下記のように相違しています。鉄骨部材リストの鉄骨間柱リスト・鉄骨階段詳細図(2)の屋内階段(2)詳細図を正と考えると宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/> 設計書</p> <p>アンカーボルト・アンカーボルト取付：M20 L=400 12本</p> <p>柱底均しモルタル： t50 185×400 2か所 t50 400×400 2か所</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄骨間柱リスト・屋内階段(2)詳細図</p> <p>アンカーボルト・アンカーボルト取付：M20 L=400 4本 M20 L=500 4本</p> <p>柱底均しモルタル： t50 135×350 2か所 t30 200×200 2か所</p>	<p>鉄骨階段詳細図(2)の屋内階段(2)詳細図を正としてよろしいが、M20 L=500 4本及び、柱底均しモルタルアンカーボルトt30 200×200 2か所は記載していない。また、モルタルについては山部分の見付け幅をベースプレートのサイズ+50として考えること。</p>												

59	<p>(S-050・設計書-P32)</p> <p>鉄骨工事(目隠し壁) 柱底均しモルタルが下記の様に相違しています。 目隠し壁詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>□設計書 : t30 250×250 11か所 t50 350×350 1か所</p> <p>□目隠し壁詳細図 : t30 200×200 8か所 t30 250×250 2か所 t30 350×350 2か所 t50 300×300 1か所</p>	<p>目隠し壁詳細図を正としてよろしいが、モルタルについては山部分の見付け幅をベースプレートのサイズ+50として考えること。</p>
60	<p>(S-046・A-23・103・設計書-P33)</p> <p>鉄骨工事(設備架台) 柱底均しモルタルが下記の様に相違しています。4・R階平面図、屋根伏図の屋根伏図・部分詳細図外部(3)の3Do-2屋外-設備機械基礎詳細図・リスト・雑配筋図の設備基礎配筋要領図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>□設計書 : t50 200×200 52か所</p> <p>□屋根伏図・屋外-設備機械基礎詳細図・設備基礎配筋要領図 : t50 150×150 36か所 t50 200×200 12か所</p>	<p>屋根伏図・屋外-設備機械基礎詳細図・設備基礎配筋要領図を正としてよろしいが、モルタルについては山部分の見付け幅をベースプレートのサイズ+50として考えること。</p>
61	<p>(S-024・044・EV-02・05・設計書-P34・35)</p> <p>鉄骨工事(EV関連) アンカーボルト・アンカーボルト取付・柱底均しモルタルが下記の様に相違しています。1階伏図・鉄骨部材リスト・EV(1)詳細図(2)・EV(2)詳細図(2)を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>□設計書 アンカーボルト・アンカーボルト取付 : M16 L=400 36本</p> <p>柱底均しモルタル : t30 200×200 8か所 t30 250×250 10か所</p> <p>□1階伏図・鉄骨部材リスト・EV(1)詳細図(2)・EV(2)詳細図(2) アンカーボルト・アンカーボルト取付 : M20 L=400 20本</p> <p>柱底均しモルタル : t30 250×250 6か所 t30 300×300 4か所</p>	<p>1階伏図・鉄骨部材リスト・EV(1)詳細図(2)・EV(2)詳細図(2)を正としてよろしいが、モルタルについては山部分の見付け幅をベースプレートのサイズ+50として考えること。</p>
62	<p>(A-01・設計書-P164・195~196)</p> <p>発生材処理 建設発生土の処分は特記仕様書(建築新営)その1 3土工事 ②建設発生土の処理で、構外指示の場所がありますが、設計書に記載が見当たりません。特記仕様書(建築新営)その1は参考扱いとし、場外自由処分と考えて宜しいでしょうか。また、外構の発生材処理も同様と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>

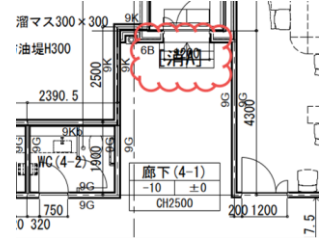
63	<p>(S-101・A-39・設計書-P136～138)</p> <p>仕上エント工事 (1)仕上エント (内部)のビット人通路・通気管・通水管・排水管・設備配管スリーブが設計書とスリーブ図(1)・ビット階平面詳細図・蓄熱槽詳細図で相違しています。スリーブ図(1)・ビット階平面詳細図・蓄熱槽詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>設計書 スリーブ図(1)・ビット階平面詳細図・蓄熱槽詳細図</p> <p>□人通路</p> <table border="0"> <tr><td>φ 600×L300</td><td>3か所</td><td>→</td><td>4か所</td></tr> <tr><td>φ 600×L500</td><td>1か所</td><td>→</td><td>1か所</td></tr> <tr><td>φ 600×L800</td><td>9か所</td><td>→</td><td>4か所</td></tr> <tr><td>φ 600×L1000</td><td>6か所</td><td>→</td><td>7か所</td></tr> <tr><td>φ 600×L1150</td><td>1か所</td><td>→</td><td>0か所</td></tr> <tr><td>φ 600×L200</td><td>0か所</td><td>→</td><td>1か所</td></tr> <tr><td>φ 600×L600</td><td>0か所</td><td>→</td><td>2か所</td></tr> </table> <p>□通気管</p> <table border="0"> <tr><td>VU φ 75×L300</td><td>11か所</td><td>→</td><td>11か所</td></tr> <tr><td>VU φ 75×L1000</td><td>4か所</td><td>→</td><td>4か所</td></tr> <tr><td>VU φ 100×L300</td><td>2か所</td><td>→</td><td>4か所</td></tr> <tr><td>VU φ 100×L800</td><td>1か所</td><td>→</td><td>1か所</td></tr> <tr><td>VU φ 100×L1000</td><td>1か所</td><td>→</td><td>2か所</td></tr> </table> <p>□通水管</p> <table border="0"> <tr><td>VU 半割 φ 150×L300</td><td>2か所</td><td>→</td><td>4か所</td></tr> <tr><td>VU 半割 φ 150×L800</td><td>1か所</td><td>→</td><td>1か所</td></tr> <tr><td>VU 半割 φ 150×L1000</td><td>1か所</td><td>→</td><td>2か所</td></tr> <tr><td>VU φ 200×L300</td><td>7か所</td><td>→</td><td>7か所</td></tr> <tr><td>VU φ 200×L1000</td><td>4か所</td><td>→</td><td>4か所</td></tr> </table> <p>□排水管</p> <table border="0"> <tr><td>VU φ 100×L300</td><td>7か所</td><td>→</td><td>7か所</td></tr> <tr><td>VU φ 100×L1000</td><td>4か所</td><td>→</td><td>4か所</td></tr> </table> <p>□設備配管スリーブ</p> <table border="0"> <tr><td>VU φ 75×L450</td><td>2か所</td><td>→</td><td>2か所</td></tr> <tr><td>VU φ 75×L800</td><td>2か所</td><td>→</td><td>2か所</td></tr> <tr><td>VU φ 75×L1000</td><td>0か所</td><td>→</td><td>6か所</td></tr> <tr><td>VU φ 100×L1000</td><td>1か所</td><td>→</td><td>1か所</td></tr> <tr><td>VU φ 100×L1050</td><td>2か所</td><td>→</td><td>6か所</td></tr> <tr><td>VU φ 150×L300</td><td>1か所</td><td>→</td><td>1か所</td></tr> <tr><td>VU φ 150×L1000</td><td>4か所</td><td>→</td><td>6か所</td></tr> <tr><td>VU φ 150×L1050</td><td>2か所</td><td>→</td><td>2か所</td></tr> <tr><td>VU φ 200×L450</td><td>2か所</td><td>→</td><td>2か所</td></tr> <tr><td>VU φ 200×L1000</td><td>3か所</td><td>→</td><td>3か所</td></tr> <tr><td>VU φ 200×L1050</td><td>6か所</td><td>→</td><td>6か所</td></tr> <tr><td>VU φ 200×L1150</td><td>3か所</td><td>→</td><td>4か所</td></tr> </table>	φ 600×L300	3か所	→	4か所	φ 600×L500	1か所	→	1か所	φ 600×L800	9か所	→	4か所	φ 600×L1000	6か所	→	7か所	φ 600×L1150	1か所	→	0か所	φ 600×L200	0か所	→	1か所	φ 600×L600	0か所	→	2か所	VU φ 75×L300	11か所	→	11か所	VU φ 75×L1000	4か所	→	4か所	VU φ 100×L300	2か所	→	4か所	VU φ 100×L800	1か所	→	1か所	VU φ 100×L1000	1か所	→	2か所	VU 半割 φ 150×L300	2か所	→	4か所	VU 半割 φ 150×L800	1か所	→	1か所	VU 半割 φ 150×L1000	1か所	→	2か所	VU φ 200×L300	7か所	→	7か所	VU φ 200×L1000	4か所	→	4か所	VU φ 100×L300	7か所	→	7か所	VU φ 100×L1000	4か所	→	4か所	VU φ 75×L450	2か所	→	2か所	VU φ 75×L800	2か所	→	2か所	VU φ 75×L1000	0か所	→	6か所	VU φ 100×L1000	1か所	→	1か所	VU φ 100×L1050	2か所	→	6か所	VU φ 150×L300	1か所	→	1か所	VU φ 150×L1000	4か所	→	6か所	VU φ 150×L1050	2か所	→	2か所	VU φ 200×L450	2か所	→	2か所	VU φ 200×L1000	3か所	→	3か所	VU φ 200×L1050	6か所	→	6か所	VU φ 200×L1150	3か所	→	4か所	よろしい。
φ 600×L300	3か所	→	4か所																																																																																																																											
φ 600×L500	1か所	→	1か所																																																																																																																											
φ 600×L800	9か所	→	4か所																																																																																																																											
φ 600×L1000	6か所	→	7か所																																																																																																																											
φ 600×L1150	1か所	→	0か所																																																																																																																											
φ 600×L200	0か所	→	1か所																																																																																																																											
φ 600×L600	0か所	→	2か所																																																																																																																											
VU φ 75×L300	11か所	→	11か所																																																																																																																											
VU φ 75×L1000	4か所	→	4か所																																																																																																																											
VU φ 100×L300	2か所	→	4か所																																																																																																																											
VU φ 100×L800	1か所	→	1か所																																																																																																																											
VU φ 100×L1000	1か所	→	2か所																																																																																																																											
VU 半割 φ 150×L300	2か所	→	4か所																																																																																																																											
VU 半割 φ 150×L800	1か所	→	1か所																																																																																																																											
VU 半割 φ 150×L1000	1か所	→	2か所																																																																																																																											
VU φ 200×L300	7か所	→	7か所																																																																																																																											
VU φ 200×L1000	4か所	→	4か所																																																																																																																											
VU φ 100×L300	7か所	→	7か所																																																																																																																											
VU φ 100×L1000	4か所	→	4か所																																																																																																																											
VU φ 75×L450	2か所	→	2か所																																																																																																																											
VU φ 75×L800	2か所	→	2か所																																																																																																																											
VU φ 75×L1000	0か所	→	6か所																																																																																																																											
VU φ 100×L1000	1か所	→	1か所																																																																																																																											
VU φ 100×L1050	2か所	→	6か所																																																																																																																											
VU φ 150×L300	1か所	→	1か所																																																																																																																											
VU φ 150×L1000	4か所	→	6か所																																																																																																																											
VU φ 150×L1050	2か所	→	2か所																																																																																																																											
VU φ 200×L450	2か所	→	2か所																																																																																																																											
VU φ 200×L1000	3か所	→	3か所																																																																																																																											
VU φ 200×L1050	6か所	→	6か所																																																																																																																											
VU φ 200×L1150	3か所	→	4か所																																																																																																																											
64	<p>(設計書-P)</p> <p>以下の項目にて設計書数量と積算数量との差異が見受けられます。</p> <p>全て積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>設計書数量</th> <th>積算数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">□土工事 (設計書-P5)</td> </tr> <tr> <td>根切り</td> <td>3,416m3</td> <td>4,496m3</td> </tr> <tr> <td>埋戻し(A種)</td> <td>542m3</td> <td>924m3</td> </tr> <tr> <td colspan="3">□鉄筋工事 (設計書-P7)</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工組立</td> <td>296t</td> <td>344.64t</td> </tr> <tr> <td>鉄筋運搬費</td> <td>296t</td> <td>344.64t</td> </tr> <tr> <td>ガス圧接 D22-D22</td> <td>315ヶ所</td> <td>418ヶ所</td> </tr> </tbody> </table>		設計書数量	積算数量	□土工事 (設計書-P5)			根切り	3,416m3	4,496m3	埋戻し(A種)	542m3	924m3	□鉄筋工事 (設計書-P7)			鉄筋加工組立	296t	344.64t	鉄筋運搬費	296t	344.64t	ガス圧接 D22-D22	315ヶ所	418ヶ所	図面を正とする。																																																																																																				
	設計書数量	積算数量																																																																																																																												
□土工事 (設計書-P5)																																																																																																																														
根切り	3,416m3	4,496m3																																																																																																																												
埋戻し(A種)	542m3	924m3																																																																																																																												
□鉄筋工事 (設計書-P7)																																																																																																																														
鉄筋加工組立	296t	344.64t																																																																																																																												
鉄筋運搬費	296t	344.64t																																																																																																																												
ガス圧接 D22-D22	315ヶ所	418ヶ所																																																																																																																												

	<input type="checkbox"/> コンクリート工事（設計書-P8） 捨てコンクリート 79.4m ³ 107m ³ <input type="checkbox"/> 型枠工事（設計書-P10） 止水板 208m 55.7m <input type="checkbox"/> 発生材処理（設計書-P164） （運搬） 建設発生土運搬 一般土 3,416m ³ 4,495m ³ （処分） 建設発生土処分 一般土 3,416m ³ 4,495m ³	
65	（S-026・040・設計書-P16） 鉄骨工事（本体鉄骨） 鉄骨柱・鉄骨大梁リスト 鉄骨大梁リストの3階G11のSN400B SH-700X350X14X32の記載がありますが、設計書に見当たりません。鉄骨工事（本体鉄骨）にSN400B SH-700X350X14X32を項目追加で見込むと考えて宜しいでしょうか。	外法H形鋼にて計上している。
66	（S-025～036・040・設計書-P19） 鉄骨工事（本体鉄骨） 超音波探傷試験 現場第3者の設計書数量が積算数量と差異が見受けられます。各階伏図・軸組図・鉄骨柱・鉄骨大梁リストのノブラケットタイプ・大梁カバープレート要領図より、積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。 設計書 積算数量 （各階伏図・軸組図・ 鉄骨柱・鉄骨大梁リストの ノブラケットタイプ・ 大梁カバープレート要領図） <input type="checkbox"/> 超音波探傷試験：750か所 → 1,856か所	S-004 特記仕様書(建築構造)その4の溶接部の試験による。
67	（S-049・設計書-P24） 鉄骨工事(屋外階段) 普通ボルトの数量が積算数量と差異が見受けられます。鉄骨階段詳細図(2) 屋外階段詳細図の4階・R階伏図の手摺柱15ヶ所より、積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。 設計書 積算数量(屋外階段詳細図) <input type="checkbox"/> 普通ボルト：37本 → 30本	よろしい。
68	（S-049・設計書-P24） 鉄骨工事(屋外階段) 軽量鉄骨加工・組立の記載がありますが、設計書内に見当たりません。不要と考えて宜しいでしょうか。	設計書P-24に記載している。
69	（S-048・設計書-P26） 鉄骨工事(屋内階段(1)) 下記の部材の記載がありますが、鉄骨階段詳細図(1)に見当たりません。使用箇所を御指示下さい。 <input type="checkbox"/> H形鋼 SS400 H-100×100×6×8 <input type="checkbox"/> 等辺山形鋼 SS400 L-90×90×9	意匠図A-33内部手摺詳細図の接合部の部材となる。
70	（S-048・設計書P-27・28） 鉄骨工事(屋内階段(1)) 超音波探傷試験 工場第3者と現場第3者の全数か所の数量が積算数量と差異が見受けられます。鉄骨階段詳細図(1) 屋内階段(1)詳細図より、積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。 設計書 積算数量 （屋内階段(1) 詳細図） <input type="checkbox"/> 超音波探傷試験 工場第3者：275か所 → 28か所 <input type="checkbox"/> 超音波探傷試験 現場第3者：34か所 → 4か所	S-004 特記仕様書(建築構造)その4の溶接部の試験による。
71	（S-050・設計書-P31） 鉄骨工事(目隠し壁) 等辺山形鋼が下記の様に相違しています。目隠し壁詳細図 d・g部詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 設計書：L-65×65×8 <input type="checkbox"/> 目隠し壁詳細図 d・g部詳細図：L-65×65×6	よろしい。
72	（S-050・設計書-P31） 鉄骨工事(目隠し壁) 普通ボルト SS400 M12 L=30の記載がありますが、目隠し壁詳細図に見当たりません。使用箇所を御指示下さい。	目隠し壁取付用アングルの取付用のボルトを示す。 A-104 部分詳細図 外部(4) 4Do-1a有孔折板詳細図等を参照。

73	<p>(S-025~036・040・044~047・設計書-P15~17)</p> <p>鉄骨工事(本体鉄骨) 下記の部材の記載がありますが、各階伏図・軸組図・鉄骨部材リスト鉄骨架構詳細図・底部鉄骨要領図に見当たりません。使用箇所を御指示下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>H形鋼 SS400 H-200×200×8×12</p> <p><input type="checkbox"/>溝形鋼 SS400 C-75×40×5×7</p> <p><input type="checkbox"/>等辺山形鋼 SS400 L-30×30×3</p> <p><input type="checkbox"/>等辺山形鋼 SS400 L-65×65×8</p> <p><input type="checkbox"/>不等辺山形鋼 SS400 L-90×75×8</p> <p><input type="checkbox"/>平鋼 SN490B FB-9×25</p> <p><input type="checkbox"/>平鋼 SN490B FB-9×38</p> <p><input type="checkbox"/>平鋼 SN400B FB-9×38</p> <p><input type="checkbox"/>平鋼 SS400 FB-6×50</p> <p><input type="checkbox"/>平鋼 SS400 FB-9×38</p> <p><input type="checkbox"/>角型鋼管 STKR400 □-60×30×3.2</p> <p><input type="checkbox"/>軽量溝形鋼 SSC400 LC-120×40×3.2</p>	<p>庇受け、ECP受け、屋根R-1内樋廻り、屋根R-3屋根取合い等の意匠雑を見込んでいる。</p> <p>また、H形鋼H-200×200×8×12はCP200(S-041)、平鋼FB-9は裏当て金を見込んでいる。(S-008)</p>
74	<p>(A-103)</p> <p>部分詳細図外部(3) [3Do-1・3]でハ小屋の揚裏部分の仕上がりが不明です。コンクリート打放補修素地と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
75	<p>(A-23.A-101)</p> <p>屋根(R-3)でパイプの径が下記の様に相違しています。部分詳細図 外部(1)を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>4・R階平面図、屋根伏図：φ48.6</p> <p><input type="checkbox"/>部分詳細図外部(1)-[1Do-6]：φ60.5</p>	<p>よろしい。</p>
76	<p>(A-25)</p> <p>断面図で屋根(4-2)の壁にECP t60の記載がありますが、仕上がりが不明です。外壁(2)のDPと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
77	<p>(A-24.28-1.28-2.29-1)</p> <p>4階屋根(4-1~3)で笠木の仕様が下記の様に相違しています。塗膜防水(B)を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>立面図：笠木(2) 塗膜防水(A)</p> <p><input type="checkbox"/>矩計図(1)~(3)-矩計図・矩計図(3)-立面図：塗膜防水(B)</p> <p><input type="checkbox"/>矩計図(1)・(2)・(4)-立面図：笠木(2) 塗膜防水(A)</p>	<p>よろしい。</p>
78	<p>(A-29-1.101)</p> <p>矩計図(3)東面で屋根(4-3)のパラペットに丸環の図示がありますが、部分詳細図 外部(1)で丸環詳細図は取り消しの記載があります。丸環は不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
79	<p>(A-102)</p> <p>部分詳細図外部(2)-[2Do-13] 内部縦樋(SGP)外壁貫通及び放流部分でRC壁貫通後異種管継手にてVPに切替の記載がありますが、VPはカマ-VP管と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
80	<p>(A-38.59)</p> <p>4階平面詳細図でX1/Y3通付近の縦樋にRC壁貫通放流の記載がありますが、建具表(5)で該当部分のSG4-4は建具貫通となっています。建具貫通を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
81	<p>(A-16.92)</p> <p>屋根(R-1)で内樋のドレインの仕様が下記の様に相違しています。外部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>外部仕上表：自在ドレイン φ125</p> <p><input type="checkbox"/>金属屋根詳細図(3)：鑄鉄製ドレイン φ125</p>	<p>金属屋根詳細図(3)：鑄鉄製ドレイン φ125を正とする。</p>
82	<p>(A-16.23)</p> <p>一般共通事項・外部仕上表-1一般共通事項-その他2で『縦樋落とし口には、樋受け石を設置する。』の記載がありますが、屋根(4-2) X4-5/Y2-3通間の1箇所のみとし、屋根(4-1.4-2) Y1、Y3通の放流部分には不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>すべての放流部分に必要。</p>

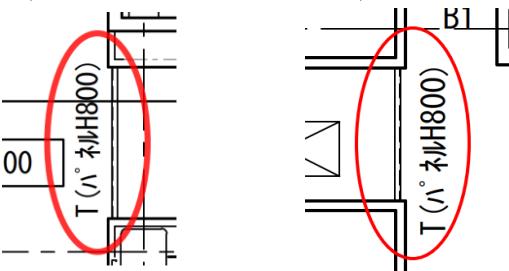
83	<p>(A-24)</p> <p>立面図で▽非常用侵入口と▼代替侵入口の記載がありますが、それぞれの表示の仕様が不明です。御指示下さい。</p>	<p>以下と考えること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常用進入口： <ul style="list-style-type: none"> 形状：一辺が200mmの正三角形 材種：アクリル系フィルム 表面：反射赤色、裏面：粘着層付 ・代替進入口： <ul style="list-style-type: none"> 形状：一辺が200mmの正三角形 材種：アクリル系フィルム 表面：反射赤色(粘着面)、 裏面：代替進入口であることがわかる表示がされたもの <p>特記：窓の内側から貼る表粘着タイプ</p>
84	<p>(A-25)</p> <p>断面図-屋根(4-2)-西面立面図で鉄骨階段基礎の記載がありますが、仕上は防水珪藻土仕上とし、段鼻部はノスリプルタイルと考えて宜しいでしょうか。</p> 	<p>よろしい。</p>
85	<p>(A-16.A-28-1)</p> <p>木ルーバーで仕上が下記の様に相違しています。矩計図(1)南面を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>一般共通事項・外部仕上表-外部仕上表:耐候性塗料</p> <p><input type="checkbox"/>矩計図(1)南面:保護着色防腐塗装</p>	<p>よろしい。</p>
86	<p>(A-03)</p> <p>特記仕様書(建築新営)その3-9防水工事-塗膜防水でカー指定色の記載がありますが、カー指定色の色を御指示下さい。</p>	<p>指定色：ライトグレー程度と考えること。</p> <p>詳細は施工段階で決定する。</p>
87	<p>(A-02.A-16)</p> <p>アスファルト防水で断熱材が下記の様に相違しています。一般共通事項・外部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>特記仕様書(建築新営)その3-9防水工事-1防水工事: 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付)</p> <p><input type="checkbox"/>一般共通事項・外部仕上表:押出法ポリスチレンフォーム保温材3種b</p>	<p>特記仕様書を正としてください</p>
88	<p>(A-24.A-31)</p> <p>立面図-東立面図でY3通に外壁(4)の記載がありますが、バルコニー廻り詳細図より外壁(5)に読み替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
89	<p>(A-33)</p> <p>屋内階段(1)詳細図(2)で下図赤線部の詳細が不明です。御指示下さい。</p> 	<p>GB-Rt12.5+12.5+EPとする。</p>
90	<p>(B-01)</p> <p>グリップ等配置図で1階執務室(1-1)にグリップハンガー-H1200程度2台と記載ありますが、図示がなく詳細が不明です。御指示下さい。</p>	<p>グリップハンガーとは、プルコード式のロールスクリーン(B-02・ロールスクリーン詳細図参照)のメタルグリップを引っ張るためのハンガー(棒)を示している。</p>

91	(A-39) ビット階平面詳細図・蓄熱槽詳細図で凡例にオーバーフロー管 VU100φ(スリーブ125φ)の記載ありますが、図示がなく該当範囲が不明です。御指示下さい。	オーバーフロー管は北面沈砂層から第一榭へ接続しているT-125φVPのみを建築工事、他は設備工事とする。設置個所は設備図参照。
92	(A-26-1) 天井伏図で下図ルバー点検口の使い分けが不明です。御指示下さい。 	サイズによる使い分けをしている。 ○囲みは450×450、△囲みは600×600
93	(SN-14・15) サイン詳細図で下記サインにサイン用下地:建築工事と記載ありますが、詳細が不明です。御指示下さい。 <input type="checkbox"/> K-3a 突出しサイン <input type="checkbox"/> K-3b 突出しサイン(トイレ)	St t=1.6 50×200程度と考えること。
94	(A-43) トイレ詳細図(1)で1階HWCのY1通り間仕切が10Kbとありますが10Hに読替えて宜しいでしょうか。	よろしい。
95	(A-44) トイレ詳細図(2)で2階MWC入口の間仕切が6A・6Hとなっていますが、WWCと同様に6A・6Cに読替えて宜しいでしょうか。	よろしい。
96	(A-43) トイレ詳細図(1)バグダーカウンター・荷物棚詳細図で、鏡上部がNAD仕上となっていますが、WC壁仕上と同様にFK-Dに読替えて宜しいでしょうか。宜しいでしょうか。	メラミン化粧板とする。
97	(A-44・106) トイレ詳細図(2)で、2階WWC(2-1)・3階WWC(3-1)のバグダーカウンター壁にモザイクタイル張の記載がありますが、部分詳細図内部(2) [2Di-14] モザイクタイルには斜線の記載があり、適用無しとなっております。モザイクタイルは該当無しと考えて宜しいでしょうか。計上必要な場合は、参考メーカー品番を御指示下さい。又は、モザイクタイル張の代わりに仕上を御指示下さい。	よろしい。
98	(A17.26-1) 1階相談室(1-1)で天井仕上が下記のように相違しています。内部仕上表(1)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <input type="checkbox"/> 内部仕上表(1)：不燃木ルバー45×90 @160 露出部SOP <input type="checkbox"/> 1階天井伏図-凡例①：GB-R t12.5+DR t9	よろしい。
99	(A17.26-1) 1階倉庫(1-2.1-3)で天井仕上が下記のように相違しています。内部仕上表(1)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <input type="checkbox"/> 内部仕上表(1)：上階スラブ 表し <input type="checkbox"/> 1階天井伏図-凡例②：GB-F t21+21+EP	よろしい。
100	(A18.26-2) 2階ロッカー(2-1.2-2)で天井仕上が下記のように相違しています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <input type="checkbox"/> 仕上表：GB-D t9.5 <input type="checkbox"/> 天井伏図：GB-R t12.5+DR t9	よろしい。

101	<p>(A18.29-2) 2階倉庫(2-3)で床・天井・天井高さが下記の様に相違しています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>◆仕上表 □床：VS(A) □天井：上階スラブ 表し □天井高さ：直天</p> <p>◆矩計図 □床：VT(B) □天井：GB-D t9.5 □天井高さ：2700</p>	よろしい。
102	<p>(A17.120) 1階印刷室で床仕上が下記の様に相違しています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>□仕上表：VS(A) □床仕上げ図：VS(D)</p>	よろしい。
103	<p>(A-38) 4階平面詳細図-廊下(4-1)で下図の階段の踏面・蹴上の仕上、段鼻の仕様、手摺の有無・詳細を御指示下さい。</p> 	<p>以下と考えること。 踏面・蹴上：VS (C) 段鼻：ノンスリップ SUS製HL(ゴム入り) 手摺：なし</p>
104	<p>(A-35.A-108[4Di-7]) 1階MR(1-1)(X1/Y1-2)で設備機械基礎のAタイプ W300×D300×H150の箇所数が相違しています。部分詳細図 内部(4)を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>□1階平面詳細図:1箇所 □部分詳細図 内部(4):2箇所</p>	よろしい。
105	<p>(A-35.A-108[4Di-7]) 1階濾過機械室(X1/Y3)で設備機械基礎のサイズが下記の様に相違しています。部分詳細図 内部(4)を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>□1階平面詳細図:W700×D350 □部分詳細図 内部(4): W750×D300×H150</p>	よろしい。
106	<p>(A-20) 内部仕上表(4)で4階電気室及び発電機室-備考欄に配線ピットの記載がありますが、詳細が不明です。御指示下さい。</p>	配線ピットは不要。
107	<p>(A-38) 4階平面詳細図-発電機室で防油堤の壁及び天端仕上げが不明です。床と同じ防塵塗装と考えて宜しいでしょうか。</p>	高さ:H150、仕上げ:珪砂+防塵塗装とする。
108	<p>(A-38) 4階平面詳細図で4階発電機室の防油堤に油溜マス300×300の記載がありますが、詳細が不明です。下記の様に考えて宜しいでしょうか。</p> <p>□高さ:H150 □仕上げ:珪砂+防塵塗装</p>	よろしい。
109	<p>(A-20.A-120) 4階SKの床仕上が下記の様に相違しています。内部仕上表(4)を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>□内部仕上表(4):VS(D) □床仕上げ図:防塵塗装</p>	よろしい。
110	<p>(A-17.A-26-1) 1階消火ポンプ室・倉庫(1-5)の天井仕上および天井高さとの納まりが下記の様に相違しています。1階天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>□内部仕上表(1):GB-F t21+21 -直天 □1階天井伏図-凡例②:GB-F t21+21+EP -直天</p>	よろしい。

111	(B01) 'グ ライト' 等配置図で'グ ライト'・ロールスクーンの寸法が下記の様に相違しています。リストを正と考えて宜しいでしょうか。 [平面図] [リスト] □1階相談室(1-1) : RS-1 1800*3200 RS-2 2400*3200 □1階守護室 : RS-2 2400*3200 RS-1 1800*3200 □2階相談室(2-1) : BD-3 1200*1950 BD-4 2400*1950	よろしい。
112	(A-108[4Di-8]) 部分詳細図 内部(4)貫通部充填材留めプレートの仕様を御指示下さい。	C-100 x 50 x 20 x 2.3の塞ぎ材として、スチールプレート t 1.6を軽鉄工事で取り付けること。
113	(A-104) 部分詳細図外部(4)-[4Do-2]目隠し壁:独立基礎タイプ 詳細図で[議場天井裏]防水の記載がありますが、防水の範囲・仕様が不明です。御指示下さい。	誤記。防水はない。
114	(A-07-3.A-17.A-18.A-19.A-20) 特記仕様書(建築新営)その9-19内装工事-9合成樹脂塗床で厚膜型塗床材に適用印がありますが、内部仕上表等で見受けられません。該当無しと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
115	(A-33) 屋内階段(1)詳細図(2)で肥前吉田焼タイル(B)について詳細が不明の為、下記項目について御指示下さい □釉薬の色について □タイル表面の加工および裏面の処理 □50*150t=5の具体的な枚数 □50*150t=10の具体的な枚数	A-03 特記仕様書(建築新営)その3、A-32 屋内階段(1)詳細図(1)、A-33 屋内階段(1)詳細図(2)に記載の通り。 □釉薬の色について 色は未定。同系色の4色程度を想定している。 □タイル表面の加工および裏面の処理 裏足なし □50*150t=5の具体的な枚数 参考数量：約5,900枚 □50*150t=10の具体的な枚数 参考数量：約3,900枚
116	(A-41) 議場詳細図(1)で、肥前吉田焼タイル議場壁(A)について詳細が不明の為、下記項目について御指示下さい。 □釉薬の色について □タイル表面の加工および裏面の処理 □50*50 t=5の具体的な枚数 □50*50t=10の具体的な枚数	A-03 特記仕様書(建築新営)その3、A-41議場詳細図(1)、A-42議場詳細図(2)に記載の通り。 □釉薬の色について 色は未定。同系色の4色程度を想定している。 □タイル表面の加工および裏面の処理 裏足なし □50*150t=5の具体的な枚数 参考数量：約1,100枚 □50*150t=10の具体的な枚数 参考数量：約700枚
117	(A-41) 議場詳細図(1)で、肥前吉田焼タイル議場壁(B)について詳細が不明の為、下記項目について御指示下さい。 □釉薬の色 □タイル表面の加工および裏面の処理 □50*150t=5の具体的な枚数 □50*150t=10の具体的な枚数	A-03 特記仕様書(建築新営)その3、A-41議場詳細図(1)、A-42議場詳細図(2)に記載の通り。 □釉薬の色について 色は未定。同系色の4色程度を想定している。 □タイル表面の加工および裏面の処理 裏足なし □50*150t=5の具体的な枚数 参考数量：約670枚 □50*150t=10の具体的な枚数 参考数量：約490枚
118	(EV-03) EV(1)詳細図(3)で、床石張(材・工共建築工事)と記載がありますが、石張の参考メーカー・品番を御指示下さい。(厚み・サイズ・仕上等)	石張りをタイル張りを読み替えること。 □参考メーカー・品番 LIXIL・フェディーレIPF-600/FED-1~3同等以上
119	(A-54.58) 建具表(4)でSDR-5の計が1か所ですが、建具符号図及び建具表(4)の箇所数欄より6か所と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
120	(A-53.59) 下記の建具について、箇所数が相違しています。建具符号図を正と考えて宜しいでしょうか。 建具符号図 建具表 □SF3-3 2 1 □SF4-1 2 1	よろしい。

121	(A-52.53.57) 下記の建具について、電気錠の有無が相違しています。建具符号図を正と考えて宜しいでしょうか。 建具符号図 建具表 □SD1-15 あり なし □SD3-5 あり なし	よろしい。
122	(A-52.57) SD1-14について、建具符号図では防火設備なし、建具表では防火設備ありと相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。	建具符号図を正(防火設備無し)とする。
123	(A-53.58) SD4-1について、建具符号図では煙感知器連動の記載なし、建具表では煙感知器連動の記載ありと相違しています。建具符号図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
124	(A-52.53.57.58) 下記の建具について、遮音性能が相違しています。 建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 建具表 建具符号図 □SD1-2 T-3 T-2 □SD1-12 T-3 T-2 □SD2-2 T-3 記載なし □SD4-26 T-2 記載なし □SD4-27 T-3 記載なし □SD4-28 T-3 記載なし	□SD1-2 T-3 □SD1-12 T-3 □SD2-2 T-3 □SD4-26 SAT 沓摺2T □SD4-27 SAT 沓摺2T □SD4-28 SAT 沓摺2T とする。 また、SD3-2をT-3 とする。
125	(A-54.58) SDR-1～5について、建具表ではSATの記載あり、建具符号図ではSATの記載なしと相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正でSATとする。
126	(A-52.59) SKD1-1について、建具表では特定防火設備なし、建具符号図では特定防火設備ありと相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正(特定防火設備なし)とする。
127	(A-60) 建具表(6)でSW4-1、4-2のH寸法が寸法欄ではH=2640、姿図ではH=2615と相違しています。姿図を正と考えて宜しいでしょうか。	A-65図を参照すること。4FLのみH=2640とする。
128	(A-59) 建具表(5)でSS2-1のH寸法が寸法欄ではH=3320、姿図ではH=2690と相違しています。取付部はCH2700のため、姿図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
129	(A-53.58) 建具表(4)でSD4-8の形式記号がA1(片開き戸)ですが、建具符号図では親子開き戸となっており相違しています。建具符号図を正とし、B1(親子開き戸)に読み替えて宜しいでしょうか。	よろしい。
130	(A-53.58) 建具表(3)でSD4-21の形式記号がDD1(欄間片引き戸)ですが、建具符号図では両開き戸となっており相違しています。建具符号図を正とし、CC1(欄間付両開き戸)に読み替えて宜しいでしょうか。	よろしい。
131	(A-68) パネーション詳細図(1) 平面図と展開図でSP1-2b及び2cの記載が食い違っています。展開図SP1-2bを平面図SP1-2c、展開図SP1-2cを平面図SP1-2bと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
132	(A-69・71) パネーション詳細図(2)でSP2-2Cの防音合せガラスは以下の構成と考えて宜しいでしょうか。 □FL5+防音フィルム30mil+FL5	よろしい。

133	<p>(A-26-2.52.59)</p> <p>2階天井伏図で下記の範囲に防煙垂壁の凡例がありますが、建具符号図では防煙垂壁の符号がありません。2階天井伏図を正とし、BT2-3同等の防煙垂壁を見込んで宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>X7/Y2通り：W1792.5 <input type="checkbox"/>X7-8/Y3：W1460</p> 	<p>よろしい。また、1階のWC前にもある。</p>																									
134	<p>(A-57)</p> <p>以下の建具について、ガラスがFT8ですが、特定防火設備でないため、FL5に読み替えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>SD1-8 <input type="checkbox"/>SD1-9 <input type="checkbox"/>SD2-5 <input type="checkbox"/>SD3-5</p>	<p>よろしい。</p>																									
135	<p>(A-57)</p> <p>建具表(3)でSD2-5、3-5の形式記号がB2(リット窓付)ですが、ガラスのサイズは620*1800となっております。形式記号をB5に読み替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>																									
136	<p>(A-52.53.59)</p> <p>建具表(5)でSF基-1の寸法がW900*H2500ですが、備考欄、姿図では一方枠の記載で建具符号図でも一方枠の記載です。W寸法は誤記と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>																									
137	<p>(A-59)</p> <p>建具表(5)でSKD1-1のガラス欄では框部の記載のみですが、欄間・袖FIX部分のガラスも同様にFL5と考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>																									
138	<p>(A-59.104)</p> <p>SKDR-1について、サイズが下記のように相違しています。建具表を正と考えると宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>建具表(5)：W1207*H960 <input type="checkbox"/>部分詳細図 外部(4)[4Do-4]：W1180*H745</p>	<p>よろしい。</p>																									
139	<p>(A-60.65.66.67-1)</p> <p>SWにおいて、W寸法が下記のように相違しています。建具詳細図を正と考えると宜しいでしょうか。</p> <p>建具詳細図(7)～(9) 建具表</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/>SW1-1、2-1、3-1、4-1</td> <td>W981</td> <td>W1028</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>SW1-2、2-2、3-2、4-2</td> <td>W350</td> <td>W643</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>SW2-3</td> <td>H1745</td> <td>H1475</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>SW4-3</td> <td>W3460</td> <td>W3290</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>SW1-10</td> <td>W2478</td> <td>W3025</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> SW1-1、2-1、3-1、4-1	W981	W1028	<input type="checkbox"/> SW1-2、2-2、3-2、4-2	W350	W643	<input type="checkbox"/> SW2-3	H1745	H1475	<input type="checkbox"/> SW4-3	W3460	W3290	<input type="checkbox"/> SW1-10	W2478	W3025	<table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/>SW1-1、2-1、3-1、4-1</td> <td>W981</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>SW1-2、2-2、3-2、4-2</td> <td>W350</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>SW2-3</td> <td>H1475</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>SW4-3</td> <td>W3460</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>SW1-10</td> <td>W2478</td> </tr> </table> <p>とする。</p>	<input type="checkbox"/> SW1-1、2-1、3-1、4-1	W981	<input type="checkbox"/> SW1-2、2-2、3-2、4-2	W350	<input type="checkbox"/> SW2-3	H1475	<input type="checkbox"/> SW4-3	W3460	<input type="checkbox"/> SW1-10	W2478
<input type="checkbox"/> SW1-1、2-1、3-1、4-1	W981	W1028																									
<input type="checkbox"/> SW1-2、2-2、3-2、4-2	W350	W643																									
<input type="checkbox"/> SW2-3	H1745	H1475																									
<input type="checkbox"/> SW4-3	W3460	W3290																									
<input type="checkbox"/> SW1-10	W2478	W3025																									
<input type="checkbox"/> SW1-1、2-1、3-1、4-1	W981																										
<input type="checkbox"/> SW1-2、2-2、3-2、4-2	W350																										
<input type="checkbox"/> SW2-3	H1475																										
<input type="checkbox"/> SW4-3	W3460																										
<input type="checkbox"/> SW1-10	W2478																										
140	<p>(A-66)</p> <p>建具詳細図(8)でSW1-10層間部の以下の詳細を御指示下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>RWの密度 <input type="checkbox"/>塞ぎパネルの仕様、仕上</p>	<p>RW密度：0.28以上 塞ぎパネル：St-1.6(防錆塗装)</p>																									
141	<p>(A-58)</p> <p>建具表(4)でLSD4-3、4-4の形式記号がDD1(欄間付)ですが、高さはH=2100のため、D1(欄間なし)に読み替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>議場側は欄間なしH=2100、反対側は欄間ありH1=2100、H2=2500とする。</p>																									
142	<p>(A-51.59)</p> <p>建具表(5)でSS1-1の枠記号がS60ですが、SS2-1～4-1も同様にS60と考えると宜しいでしょうか。又、S60の詳細に倣い、座板についてもステンレスHLと考えると宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・枠廻りの詳細はA-67-4 建具詳細図(12) SS 2-1,3-1を参照すること。 ・座板についてはSt t=1.6+SOPと考えること。 ・なおSS 1-1の枠記号はS61とし、詳細はA-67-3 建具詳細図(11) SS 1-1を参照。 																									


143	(A-67-3~67-5) 上記に関して宜しい場合、建具詳細図では枠塗装：SOP、座板、マグサ：ｽﾌｰﾙ t1.6等の記載がありますがｽﾌﾟﾘｽ HLと考えると宜しいでしょうか。	建具表、建具詳細図の通り、St t=1.6+SOPと考えること。
144	(A-59.67-3~5) SS1-1~4-1について、袖扉、戸袋のW寸法が下記の様に相違しています。 建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 建具表 建具詳細図 □SS-1 W1920(戸袋W記載無) W2110(戸袋W1933.5) □SS2-1、3-1 W1330(戸袋W1300) W1272(戸袋W1212) □SS4-1 W1285(戸袋W1290) W1304.5(戸袋W1249.5)	建具詳細図を正とする。
145	(A-59) 建具表(5)でSS1-1~4-1の仕上欄にSOP ﾏｯﾄ:錆止めｸﾞﾚｰと記載がありますが、ｽｯﾄ面は錆止め塗装のままとし、SOP仕上は袖扉部と考えて宜しいでしょうか。	袖扉、枠、まぐさ、座板など、スラット面以外の見え掛かり部と考えること。 なお、SS1-1については天井面がホルーパーで天井ふところが見え掛かりのため、シャッターボックス等についてもSOP仕上を見込むこと。
146	(A-55) 建具表(1)でAW1-1の備考欄に掃き出し窓がﾗｽ部:飛散防止ﾌｲﾙﾑ貼と記載ありますが、AW1-1組込のSSDが該当範囲と考えて宜しいでしょうか。	ガラス部全面とする。
147	(A-55.63.64) ACW4-1、4-3について、納まり詳細は建具詳細図(3)、(4)ACW4-2詳細図に倣って宜しいでしょうか。	よろしい。
148	(A-58) ハト小屋設置のSDR-1~5について、建具枠廻りｼｰﾘﾝｸﾞのサイズが不明です。 25*10+25*10と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
149	(A-56) 建具表(2)でﾊﾞｯｸﾞｰﾄﾞ付き:耐火ﾌﾞｰﾄﾞ(t=20)はﾊﾞｯｸﾞｰﾄﾞ FK t6.0+EPに倣い、仕上はEPと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
150	(A-06.55) 建具表(1)でAW1-2、1-3の仕上がBB-2種ですが、内部建具のため、特記仕様書に倣い、BC-2種と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
151	(-) ACWの性能が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。 □気密性：A-4 □水密性：W-5 □遮音性：T-2	以下と考えること。 □気密性：A-4 □水密性：1000Pa □遮音性：T-2
152	(A-51.58) 建具表(4)でSD4-26~28、SDR-1~5の沓摺符号が2Kですが、外部建具のため2Tに読み替えて宜しいでしょうか。	よろしい。
153	(A-59) 建具表(5)でSF1-2、2-2、3-2、4-1は姿図より欄間ﾊﾞｯｼﾞH=700付ですが設置場所の天井高さに倣い、欄間ﾊﾞｯｼﾞは以下の高さで見込んで宜しいでしょうか。 □SF1-2：片面H1000・片面H500(CH3000と2500の部屋間) □SF2-2、3-2、4-1：片面H700・片面H500(CH2700と2500部屋間)	よろしい。
154	(A-51.60) 建具表(6)でSW1-3、3-4、4-4の枠記号がS44R(両側FB枠ﾌﾗﾑﾊﾞｯｼﾞ付)ですが姿図では欄間の図示がなく、相違しています。 姿図を正とし、欄間ﾊﾞｯｼﾞは不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
155	(A-52.58) 建具表(4)でLSD1-4の備考欄に二連引き込みと記載がありますが、建具符号図では1枚片引きの図示となっており相違しています。建具符号図を正と考えて宜しいでしょうか。	二連引き込みとする。
156	(A-51.58) 建具表(4)でLSD2-4の枠記号がS36ですが建具共通事項・凡例にS36の凡例がありません。S35に読み替えて宜しいでしょうか。	よろしい。
157	(-) ｽﾌﾟﾘｽ製建具の曲げ加工が不明です。普通曲げと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。

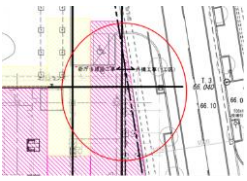
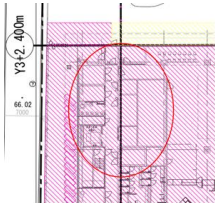
158	(A-60.102) SUF4-1について、表面仕上が下記のように相違しています。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 部分詳細図 外部(2)[2Do-11]: 2D仕上 <input type="checkbox"/> 建具表(6): HL仕上	よろしい。
159	(A-06.51) 網戸の仕様が下記のように相違しています。特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書: 合成樹脂製 <input type="checkbox"/> 建具共通事項・凡例: ガラス繊維入り合成樹脂製	建具共通事項を正とする。
160	(A-63) 建具詳細図(3)ACWで縦部断面詳細図に内部ガラスの記載がありますが、明確な施工範囲が不明です。内部側ガラス四周に見込んで宜しいでしょうか。	隅部の柱裏でシーリングの施工が困難な箇所内部側で後シールが出来ない場所に限る。平面詳細図で判断するが、入隅コーナー部のみと考えて差し支えない。
161	(A26-1・A-52・59) 1階天井伏図で下記の範囲に防煙垂壁の凡例がありますが、建具符号図では防煙垂壁の符号がありません。1階天井伏図を正とし、BT1-1同等の防煙垂壁を見込んで宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> X3/Y1通り: 可動垂壁T(ロール) 	よろしい。
162	(A59・26-2) 防煙垂壁BT2-1・2-2の仕様が下記のように相違しています。建具表(5)を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 建具表(5): 巻き取り式 防煙垂れ壁 <input type="checkbox"/> 2階天井伏図: 襷式 防煙垂れ壁	よろしい。
163	(A-59・75) 可動襷式防煙垂壁 BT2-3・2-4・3-3で、備考欄に評定番号:BCJ-防災-565と記載がありますが、防煙垂壁詳細図(2)の防煙バネルユニット(BPU)のメーカーが如くより、評定番号:BCJ-防災-84で見込むと考えて宜しいでしょうか。 (評定番号:BCJ-防災-565はBPA)	よろしい。
164	(A-55・64-3) AW1-1目隠しボードの厚みが下記のように相違しています。建具詳細図(6)を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 建具表(1): t=6 <input type="checkbox"/> 建具詳細図(6): t=8	よろしい。
165	(A-58、H-01・04) 建具性能が下記のように相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 建具表 各階法規チェック図 <input type="checkbox"/> SD4-2: 一般建具 特定防火設備 <input type="checkbox"/> SD4-21: 特定防火設備 防火設備 <input type="checkbox"/> LSD4-3: 特定防火設備 防火設備 <input type="checkbox"/> LSD4-4: 特定防火設備 防火設備	法規チェック図を正とすること。
166	(A-71) パネーション詳細図(4)で、SP1-4・1-5【防火設備・遮煙仕様】片開ドア横断面図に耐熱強化ガラスの記載がありますが、厚みが不明です。御指示下さい。	SP1-4,1-5は排煙区画のため不燃であればよいので、透明ガラス10mmとする。

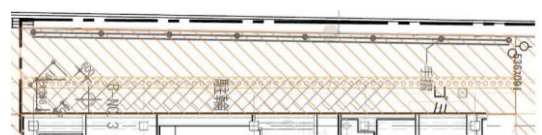

167	(MA-109) 空調換気設備 外4階平面図で、ガラリチャンパーボックス(建築工事)の記載がありますが、材質・仕上等の詳細が不明です。御指示下さい。	B-B'断面図に記載のことと思うが、建物東面ガラリからの排気は中止し、北面からの排気 (A-A'断面に記載の要領) とする。 上記変更によりガラリチャンパーボックス (建築工事) およびガラリチャンパー (設備工事○イ) も中止とする。
168	(MA-112・116) 空調換気設備 外4階平面図、外詳細図(2)で、ガラリチャンパーボックス(建築工事)の記載がありますが、材質・仕上等の詳細が不明です。御指示下さい。	No163～No169の通りとする。 ※建築工事はガラリとチャンパー受けまで。 ※チャンパー受けに接続するチャンパーは設備工事とする。
169	(A-57・58・68・69、E-087) 電気錠の有無が下記のように相違しています。全て電気錠を含むと考えて宜しいでしょうか。それぞれ御指示下さい。 建具表・パーティション詳細図 入退室管理設備1～4階平面図 <input type="checkbox"/> 1階倉庫(1-2) SD1-10 無 有 <input type="checkbox"/> 1階執務室(1-1) SP1-2c扉 無 有 <input type="checkbox"/> 2階ロッカー(2-1) LSD2-3 無 有 <input type="checkbox"/> 2階執務室(2-1) SP2-1扉 無 有 <input type="checkbox"/> 2階執務室(2-1) SP2-3扉 無 有 <input type="checkbox"/> 2階プロジェクターミ SP2-2b扉 無 有 <input type="checkbox"/> 3階印刷室(3-1) LSD3-5 無 有 <input type="checkbox"/> 3階倉庫(3-2) SD3-9 無 有 <input type="checkbox"/> 4階階段室(1) SD4-1 無 有 <input type="checkbox"/> 4階ロッカー(4-1) SD4-11 無 有 <input type="checkbox"/> 4階正副議長室 SD4-13 有 無	電気図を正とし、 <input type="checkbox"/> 1階倉庫(1-2) SD1-10 有 <input type="checkbox"/> 1階執務室(1-1) SP1-2c扉 有 <input type="checkbox"/> 2階ロッカー(2-1) LSD2-3 有 <input type="checkbox"/> 2階執務室(2-1) SP2-1扉 有 <input type="checkbox"/> 2階執務室(2-1) SP2-3扉 有 <input type="checkbox"/> 2階プロジェクターミ SP2-2b扉 有 <input type="checkbox"/> 3階印刷室(3-1) LSD3-5 有 <input type="checkbox"/> 3階倉庫(3-2) SD3-9 有 <input type="checkbox"/> 4階階段室(1) SD4-1 有 <input type="checkbox"/> 4階ロッカー(4-1) SD4-11 有 <input type="checkbox"/> 4階正副議長室 SD4-13 無 とする。こと。
170	(A67-2.MA-112) SG4-1のチャンパーBOX(チャンパー受)のサイズが下記のように相違しています。 建具詳細図(8)を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 建具詳細図(8)SG:W1110 D150 H2020 <input type="checkbox"/> 空調換気設備 外4階平面図:W1200 D600 H800	ガラリのサイズは建具詳細図(8)SG:W1110 H2020を正とし、チャンパー受けW1110 D150 H2020とする。 設備工事となっているガラリチャンパーはW1110 D600 H2020とする。
171	(A67-2.MA-112) SG4-2(発電機室)のチャンパーBOX(チャンパー受)のサイズが下記のように相違しています。建具詳細図(8)を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 建具詳細図(8)SG:W1200 D150 H2020 <input type="checkbox"/> 空調換気設備 外4階平面図:W1200 D600 H800	ガラリのサイズは建具詳細図(8)SG:W1200 H2020を正とし、チャンパー受けW1200 D150 H2020とする。 設備工事となっているガラリチャンパーはW1200 D600 H2020とする。
172	(A67-2.MA-112) SG4-2(発電機室)のチャンパーBOX(チャンパー受)のサイズが下記のように相違しています。建具詳細図(8)を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 建具詳細図(8)SG:W1200 D150 H2020 <input type="checkbox"/> 空調換気設備 外4階平面図:W1200 D600 H800	No164と同じ
173	(A67-2.MA-116) SG4-2(機械室)のチャンパーBOX(チャンパー受)のサイズが下記のように相違しています。建具詳細図(8)を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 建具詳細図(8)SG:W1710 D150 H2020 <input type="checkbox"/> 空調換気設備 外詳細図(2):W1500 D600 H800	ガラリのサイズは建具詳細図(8)SG:W1710 H2020を正とし、チャンパー受けW1710 D150 H2020とする。 設備工事となっているガラリチャンパーはW1710 D600 H2020とする。
174	(A67-2.MA-116) SG4-3(機械室)のチャンパーBOX(チャンパー受)のサイズが下記のように相違しています。建具詳細図(8)を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 建具詳細図(8)SG:W1110 D150 H2020 <input type="checkbox"/> 空調換気設備 外詳細図(2):W2500 D600 H800	ガラリのサイズは建具詳細図(8)SG:W1110 H2020を正とし、チャンパー受けW1110 D150 H2020とする。 設備工事となっているガラリチャンパーはW1110 D600 H2020とする。
175	(A67-2.MA-116) SG4-3(電気室)のチャンパーBOX(チャンパー受)のサイズが下記のように相違しています。建具詳細図(8)を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 建具詳細図(8)SG:W1110 D150 H2020 <input type="checkbox"/> 空調換気設備 外詳細図(2):W1200 D600 H2300	ガラリのサイズは建具詳細図(8)SG:W1110 H2020を正とし、チャンパー受けW1110 D150 H2020とする。 設備工事となっているガラリチャンパーはW1110 D600 H2020とする。

176	(A67-2.MA-116) SG4-4(電気室)のチャンパ-BOX(チャンパ-受)のサイズが下記の様に相違しています。建具詳細図(8)を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 建具詳細図(8)SG:W510 D150 H2020 <input type="checkbox"/> 空調換気設備ダクト詳細図(2):W1000 D600 H2300	ガラリのサイズは建具詳細図(8)SG:W510 H2020を正とし、チャンパー受けW510 D150 H2020とする。 設備工事となっているガラリチャンパーはW510 D600 H2020とする。
177	(A-61) 建具詳細図(1)AWのAW2-2で、A部断面詳細図と平面詳細図に内部がスクットの記載がありますが、明確な施工範囲が不明です。御指示下さい。	隅部の柱裏でシーリングの施工が困難な個所内部側で後シールが出来ない場所に限る。平面詳細図で判断するが、入隅コーナー部のみと考えて差し支えない。
178	(L-01) 外構舗装平面図で化粧砂利の仕様及び厚みが不明です。御指示下さい。	厚みはt=100、仕様は肥前御影石となる。
179	(L-01) 外構舗装平面図で凡例で縁石-1に①庁舎棟工区L=15.90mの記載がありますが、図示が見当たりません。施工範囲を御指示下さい。	県道の切り下げ部が範囲となる。
180	(A-07-6.L-06) 白線引きで仕様及び寸法が下記の様に相違しています。外構詳細図(2)の溶融W150を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書(建築新営)その12：常温 W100 <input type="checkbox"/> 外構詳細図(2)：溶融 W150	外構詳細図(2)の溶融 W150を正と考えること。
181	(L-06) 外構詳細図(2)で憩いテラス植栽地(一般形)に化粧砂利マルチングの記載がありますが、施工範囲及び厚みが不明です。憩いテラス植栽地全面に見込むとし、t=30と考えて宜しいでしょうか。	施工範囲は高木1本あたり1m2(ほぼr=600の円)とし、厚みはt=30とする。
182	(L-03) 外構植栽平面図-凡例で中木の樹種及び形状寸法が不明です。御指示下さい。	ソゴ W0.3×H1.5、単木添え木型支柱とする。
183	(L-03.06) 憩いテラス植栽で低木の樹種が下記の様に相違しています。外構詳細図(2)の樹種を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 外構植栽平面図：(低木)オデマリ、ウツギ、アキ、シャヤンボ、サマルミチ等 (地被)なし <input type="checkbox"/> 外構詳細図(2)-憩いテラス植栽地(一般形)：(低木)オデマリ、ヤマブキ、シモツク、ユキヤギ (地被)ヤブラン	オデマリ、ウツギ、アキ、シャヤンボ、サマルミチ、シモツク、ユキヤギ、ヤマブキ等と考えること。
184	(L-03.06) 上記質疑で宜しい場合、外構植栽平面図で凡例に低木①庁舎棟工区数量が100株と記載されておりますが、施工株数が図面で判断できません。外構詳細図(2)憩いテラス植栽地(一般形)より、低木地被混植を100株見込んで宜しいでしょうか。	低木H0.5×W0.3、樹種はオデマリ、ウツギ、アキ、シャヤンボ等を100株見込むこと。
185	(A-07-6) 特記仕様書(建築新営)その12で樹木及び芝地被類の植栽基盤整備工法が図示の記載がありますが、仕様が不明です。どちらもC種(植込み用土 良質客土)とし、厚みは植栽基盤整備表によると考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
186	(A-07-6) 特記仕様書(建築新営)その12で植栽基盤の整備で土壌改良材を適用するとなっておりますが、パーク堆肥と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。ただし、土壌の試験結果をふまえて、土壌改良材がパーク堆肥から別のものに変更になることがある。
187	(A-07-6) 特記仕様書(建築新営)その12で幹巻き用テープに適用記載がありますが、高木のみ適用すると考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
188	(A-07-6) 特記仕様書(建築新営)その12で下記試験の箇所数が不明です。御指示下さい。 <input type="checkbox"/> 土壌の水素イオン(pH)試験 <input type="checkbox"/> 水溶性塩類(EC)の試験	それぞれ1か所と考えること。
189	(A-07-6) 特記仕様書(建築新営)その12-5樹木で下記項目に適用記載がありますが、外構植栽平面図及び外構詳細図に記載の樹種に該当すると考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> さかの樹 <input type="checkbox"/> 県内産苗木	よろしい。さかの樹のものを積極的に採用していく。さかの樹にないものは、外構植栽図に記載の樹種を採用する。

190	(L-07) 外構詳細図(3)でウッドデッキ土間コンクリートの仕様が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> コンクリート強度：FC=18N S-15 <input type="checkbox"/> 配筋：ワイヤーメッシュ φ6 150×150 <input type="checkbox"/> 地業：再生クワッシュラン t=50	よろしい。
191	(A-07-4.L-08) ポラードで仕様が下記のように相違しています。外構詳細図(4)の脱着式を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書(建築新営)その10 車止め支柱：上下式鎖内蔵式 <input type="checkbox"/> 外構詳細図(4)：脱着式	L-08外構施設平面図の憩いテラス西側の2基を脱着式から上下式に変更し、その他は脱着式とする。
192	(A-07-4) 特記仕様書(建築新営)その10で敷地境界標に適用記載がありますが、外構工事の工区が不明です。①庁舎棟工区にて見込む場合は箇所数を御指示下さい。	13箇所とする。
193	(L-05) 外構詳細図(1)で集水樹ゲレーチング蓋は全て細目受枠共と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
194	(L-05) 外構詳細図(1)でU字側溝に鋼製細目ゲレーチングの記載がありますが、集水樹に做いノンスリップボルト固定受枠共を見込んで宜しいでしょうか。	よろしい。
195	(L-05) 外構詳細図(1)で集水樹・U字側溝(U-150)(U-240)ゲレーチング蓋の耐荷重が下記のように記載されています。全て建物廻りの同じ様な範囲に設置されていますが、記載通りの耐荷重を見込むと考えて宜しいでしょうか。耐荷重が変わる場合は御指示下さい。 <input type="checkbox"/> 集水樹：歩道用 <input type="checkbox"/> U-150：T-20 <input type="checkbox"/> U-240×H240、H330：歩道用	U-150の蓋の耐荷重を歩道用に読み替えること。
196	(L-04) 外構雨水排水・仕上げ高平面図で排水管の地業が不明です。建物廻りは全て砂基礎と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
197	(L-01) 外構舗装平面図で庁舎棟東側の舗装パッチングが化粧砂利と歩行者舗装-1が重なって図示されています。化粧砂利と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
198	(L-01.L-03) 外構植栽平面図で車椅子駐車場横に「ユリキ」及び「シバ」の図示がありますが、外構舗装平面図には図示がなく納まりが不明です。シバ周囲にスチールエッジを見込むと考えて宜しいでしょうか。	見込みのとおり。
199	(L-01) 上記質疑で宜しい場合、スチールエッジの数量が下記のように相違します。拾い数量を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 外構舗装平面図 凡例：L=42.06m <input type="checkbox"/> 拾い数量：L=45.66m	外構舗装平面図を正とする。
200	(SN-08) サイン詳細図(3)でOK-4おもいやり駐車場サイン基礎について詳細が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 鉄筋：D13@200 <input type="checkbox"/> 地業：捨コンクリートt=50 再生クワッシュラン(RC-40)t=100 <input type="checkbox"/> ケミカルアンカー：M-12 L=150 <input type="checkbox"/> ベースプレート下マルチ：なし	よろしい。
201	(L-04) 外構雨水排水・仕上げ高平面図で建物北側X2通付近にU150の指示がありますが、X6・X7通間にも同じ様な図示があります。同様にU150と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。

202	(L-04.L-04-a.L-05) U字側溝U240でH寸法が下記の様に相違しています。外構雨水排水・仕上げ高平面図及び外構詳細図(1)のH240、H330を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 外構雨水排水・仕上げ高平面図：H240、H330 <input type="checkbox"/> 外構雨水排水築造表：H240、H320 <input type="checkbox"/> 外構詳細図(1)：H240、H330	よろしい。
203	(L-04・05) 外構雨水排水・仕上げ高平面図で集水樹凡例のH寸法400、500、600は、外構詳細図(1)の集水樹断面図天端から底までの寸法ではなく、天端-120からの寸法を示すと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
204	(A-101) 部分詳細図 外部(1)-[1Do-17]足洗い場詳細図で地中断面及び仕上については下記の様に考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 根入：H30 <input type="checkbox"/> 地業：捨コンクリート t=50 再生クラッシュラン(RC-40)t=100 <input type="checkbox"/> モルタル：防水モルタル 底及び立上り四周に見込む	よろしい。
205	(A-35) 1階平面詳細図で建物西側にゴミの記載がありますが、詳細が不明です。建築工事で見込むものがありましたら御指示下さい。	以下を見込むこと。 ◇ゴミストッカー W1800×D680×H1130 アルミ製(底部はステンレス) 程度：積水トラッシュステーションTS-1000同等以上 個数：2個
206	(A-28-2.L-01) 外構舗装平面図で化粧砂利周囲に見切り材の図示がありませんが、矩計図(2)北面では碎石敷込み周囲に縁石の様な図示が見受けられます。縁石の仕様及び施工範囲を御指示下さい。	スチールエッジを見込むこと。 施工範囲は化粧砂利敷と舗装の取り合い部と考えること。
207	(A-98) オイルタンク詳細図でオイル配管ピットそばに給油口の図示がありますが、基礎の詳細が不明です。寸法・地業・配筋要領等の分かる断面詳細図を御指示下さい。	以下の通り コンクリート基礎 寸法：W2600×D60×H200 配筋：d10@150縦横(シングル) 地業 表層改良(セメント100kg/m3添加)厚さ1.0m
208	(A-21.A-25.L-01等) 外構工事における新庁舎建築工事範囲でY1通側の範囲が下記の様に相違しています。外構舗装平面図等の範囲を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 1階平面図、断面図等：車寄せ前のエントランス部まで  <input type="checkbox"/> 舗装平面図等外構関連図面：建物外壁まで	A-21.A-25を正とする。
209	(L-00.S-003) 捨コンクリートでスラブ値が下記の様に相違しています。特記仕様書(建築構造)その3のS-15又は18を正とし、S-15を適用すると考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 外構特記仕様書：FC=18N S-8 <input type="checkbox"/> 特記仕様書(建築構造)その3：FC=18N S-15又は18	よろしい。特記仕様書(建築構造)その3のS-15又は18を正とし、S-15を適用すると考えること。

210	<p>(L-06.07)</p> <p>下記項目で参考メーカー・品番を御指示下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>車止めブロック</p> <p><input type="checkbox"/>フッ素樹脂塗布(クリア色)</p> <p><input type="checkbox"/>撥水塗装</p>	<p>参考メーカー等は以下同等以上と考えること。</p> <p><input type="checkbox"/>車止めブロック パーキングブロック 阪和式 600×180×H120 アンカー径φ11セメント系接着剤 <input type="checkbox"/>フッ素樹脂塗布(クリア色) SK化研 セラミクリートF <input type="checkbox"/>撥水塗装 SK化研 ミクロンガード</p>
211	<p>(L-04-b.L-04-c.L-04-d)</p> <p>造成平面図・造成縦断面図・造成横断面図で下記の様に切土盛土範囲の整合性がとれていない部分があると思われます。正となる、造成平面図・縦断面図・横断面図を再度御指示下さい。</p> <p><X7+8.0m、Y3+2400m付近></p>  <p><input type="checkbox"/>造成平面図：盛土</p> <p><input type="checkbox"/>造成縦断面図・造成横断面図：切土</p> <p><X2 建物範囲付近></p>  <p><input type="checkbox"/>造成平面図：盛土</p> <p><input type="checkbox"/>造成縦断面図：切土</p>	<p>別添資料(図L-04-b造成平面図(修正))を参照すること。</p>
212	<p>(L-01)</p> <p>上記質疑に関連して、外構工事における鋤取開始レベルは造成後レベルからと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A-10現況図レベルからと考えること。</p>
213	<p>(A-98)</p> <p>オイルタンク詳細図に構造仕様の記載がありますが、コンクリート強度はオイル配管ピット・給油口も同様と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
214	<p>(A-98.A-99.S-701)</p> <p>オイルタンク・耐震性貯水槽及び渡り廊下1・2で地盤改良材の仕様が不明です。セメント系固化材350kg/m³と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
215	<p>(A-99)</p> <p>耐震性貯水槽詳細図で緊急遮断弁の基礎コンクリート上にEILの記載がありますが、厚みはt=50と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
216	<p>(A-99)</p> <p>耐震性貯水槽詳細図で貯水槽の基礎ベースにのみ配筋の記載があります。上部スラブ及び緊急遮断弁の基礎ベース・上部スラブも同様に見込むと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
217	<p>(A-98.A-99)</p> <p>オイルタンク詳細図・耐震性貯水槽詳細図で試験堀の記載がありますが、箇所数が不明です。各1箇所と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
218	<p>(A-07-5)</p> <p>特記仕様書(建築新営)その11-22排水工事-路床で盛土の仕様にA種・B種の2種類適用記載がありますが、使い分けが不明です。外構工事は、埋戻し・盛土はA種と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>
219	<p>(S-002.L-00)</p> <p>特記仕様書(建築構造)その2で外構工作物のコンクリート強度の記載がありません。特記無き外構工作物は全て、外構特記仕様書のコンクリート工事 FC=24N S-12を適用すると考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしい。</p>

220	<p>(L-01) 外構舗装平面図で下記項目について凡例数量と拾い数量が相違します。工作物等を減分した拾い数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>凡例数量 拾い数量</p> <p><input type="checkbox"/>歩行者舗装-1：505.80m² 485m²</p> <p><input type="checkbox"/>歩行者舗装-2：349.75m² 298m²</p> <p><input type="checkbox"/>化粧砂利敷：101.52m² 94.18(78.54+15.64)m²</p>	図面(凡例数量)を正とする。
221	<p>(L-02) 外構施設平面図で下記項目について凡例数量と拾い数量が相違します。拾い数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>凡例数量 拾い数量</p> <p><input type="checkbox"/>シートウォール： L=42.9m L=38.5m</p> <p><input type="checkbox"/>白線表示(駐輪場)：L=87.0m L=75.9m</p> <p>※外構詳細図2：L=72.6m(L-06)</p> <p><input type="checkbox"/>手摺： L=34.47m L=28.0m</p> <p><input type="checkbox"/>L型擁壁： L=34.47m L=28.0m</p>	図面(凡例数量)を正とする。
222	<p>(L-04) 外構雨水排水・仕上げ高平面図で下記項目について凡例数量と拾い数量が相違します。拾い数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>凡例数量 拾い数量</p> <p><input type="checkbox"/>U字側溝 U150： L=5.58m L=3.7m</p> <p><input type="checkbox"/>U字側溝 U240×H240：L=44.46m L=9.1m</p> <p><input type="checkbox"/>U字側溝 U240×H330：L=5.07m L=34.9m</p> <p><input type="checkbox"/>VP φ75： L=17.13m L=19.2m</p> <p><input type="checkbox"/>VP φ150： L=29.40m L=11.7m</p> <p><input type="checkbox"/>VP φ200： L=66.15m L=31.3m</p>	図面(凡例数量)を正とする。
223	<p>(L-04.L-04-a) A-15桝でH寸法が下記のように相違しています。外構雨水排水・仕上げ高平面図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>外構雨水排水・仕上げ高平面図：H600</p> <p><input type="checkbox"/>外構雨水排水築造表：H500</p>	外構雨水排水築造表を正とする。
224	<p>(E-015) 非常用発電設備ピット階配置配管図で危険物看板(建築工事)の記載がありますが、仕様サイズが不明です。基礎及び仕様・サイズを御指示下さい。</p>	<p>危険物看板(取付用枠)は以下と見込むこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様：SN-08サイン詳細図(3)のOK-4 おもいやり駐車場サイン同等 ・サイズ：W650×D100×H1200 ・基礎：NO200参照。
225	<p>(A-99.MA-212) 耐震性貯水槽で砕石の有無が下記のように相違しています。耐震性貯水槽詳細図の砕石なしを正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>耐震性貯水槽詳細図：砕石なし</p> <p><input type="checkbox"/>衛生設備 耐震性飲料用貯水槽埋設図：砕石 t=150あり</p>	衛生設備 耐震性飲料用貯水槽埋設図を正とする。
226	<p>(L-01.L-08) 西側敷地で舗装他の仕上がりが下記のように相違しています。外構舗装平面図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>外構舗装平面図:歩行者舗装-1・化粧砂利</p>  <p><input type="checkbox"/>外構詳細図(4)-手すり-断面図I-I:歩行者舗装1・張り芝(ノバ)・縁石</p> 	手すり断面図I-Iの位置は、図L-02の手すり断面Iの箇所を参照ください。庁舎西側ではなく、南側の外構工事(1工区)内の駐車場のあたりとなる。

227	(L-00~08) 外構工事に於いてコンクリートの構造強度補正値は不要と考えて宜しいでしょうか。	本体と同じとする。
228	(【建築】切抜設計書P-42) 既製コンクリート工事で外壁 設備置場 頭継金物と外壁デッドスペース頭継金物の計上記載がありますが、それぞれの明確な範囲が不明です。御指示下さい。	A-104[4Do-2,3]を参照すること。 (屋根(R-1)ケラバのX2~6/Y2及びX2~6/Y3)
229	(【建築】切抜設計書P-43) 既製コンクリート工事で外壁 開口補強金物(横材下部)の計上記載がありますが、該当する建具が不明です。御指示下さい。	ACW4-4、SG4-1~4、SD4-26~28が該当範囲となる。
230	(【建築】切抜設計書P45.A-104[4Do-3]) 防水工事で屋根 笠木 塗膜防水(B) W180 の計上記載がありますが、部分詳細図 外部(4)[4Do-3]目隠し壁:屋根貫通タイプ 詳細図より塗膜防水(A)を正と考えて宜しいでしょうか。 又、金抜数量：75.4m、積算数量：34.2mと数量差異があります。上記項目の該当範囲を御指示下さい。	よろしい。 屋根R-3の外周部が該当範囲となる。
231	(【建築】切抜設計書P46) 防水工事で非常口床 塗膜防水(A) の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	Y1/X3,6の入口部分が該当範囲となる。
232	(【建築】切抜設計書P47.A-101[1Do-10]) 防水工事で外壁根廻り取合いシーリングと打継目地シーリングが同数量計上されていますが、部分詳細図 外部(1) [1Do-10]根回り打継ぎ目地詳細図では打継目地の記載しかありません。根廻り取合いシーリングは不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
233	(【建築】切抜設計書切抜きP47) 防水工事で水切り取合いシーリング 488mの計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	AW・ACW建具詳細図の水切り部取合シーリングが該当範囲となる。
234	(【建築】切抜設計書P114.A-29-2) 塗装工事で外壁(4) DP(FR)塗りが558㎡計上されていますが、この数量は庇(2-3~4-3)の見隠れ部分も入っている数量と思われます。見掛け分424㎡程度を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
235	下記項目で切抜設計書と数量差異があります。積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。 ◆金属工事(P-58)/軒天目透し目地金物(A) □金抜数量：518 m □積算数量：823 m ◆金属工事(P-58)/軒天目透し目地金物(B) □金抜数量：593 m □積算数量：321 m ◆金属工事(P-58)/軒天見切り金物◎ □金抜数量：424 m □積算数量：714 m ◆金属工事(P-60)/外壁 アルミフィン □金抜数量：239 m □積算数量：310 m ◆塗装工事(P-113)/ホルバ-受け鉄骨 DP塗り □金抜数量：216 ㎡ □積算数量：189 ㎡ ◆内装工事(P-118)/幕板 けい酸カルシウム板張り □金抜数量：190 m □積算数量：154 m	図面を正とする。
236	(【建築】切抜設計書P-51) 木工事で議場壁 木下地 集成材 24×50の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	議場詳細図の傍聴席吸音壁(X6通り)が該当範囲となる。
237	(【建築】切抜設計書P-52) 木工事で壁 天然木練付合板張り t9.5 素地の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	議場詳細図の傍聴席手摺壁が該当範囲となる。
238	(【建築】切抜設計書P-52) 木工事で天井 天然木練付合板張り t9.5 塗装下地の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	議場詳細図の傍聴席吸音壁(X6通り)が該当範囲となる。

239	(【建築】切抜設計書P-52) 木工事で天井 天然木練付合板張り t9.5 塗装下地の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	NO231と同じ
240	(【建築】切抜設計書P-62) 金属工事で軽量鉄骨天井下地 19形 ふろころ1.5m以上3.0m未満下地張りなし @300 イット共の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	1階 給湯・ゴミ庫、印刷室、PS等が該当範囲となる。
241	(【建築】切抜設計書P-63) 金属工事で軽量鉄骨下り壁下地 19形 H400の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	議場の上部折上げ天井部が該当範囲となる。
242	(【建築】切抜設計書P-74) 左官工事で立上り天端コンクリート直均し仕上げ金ごて W140直均し仕上げの計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	ハト小屋(R-3)、ハト小屋(R-4)、テッドスペースが該当範囲となる。
243	(【建築】切抜設計書P-115) 塗装工事でSOP塗り鉄鋼面 B種 細幅 糸180素地ごしらえC種の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	建具枠の塗装が該当範囲となる。
244	(【建築】切抜設計書P-116) 塗装工事で天井 EP塗りけい酸カルシウム板面 B種素地ごしらえB種の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	議場のガラス繊維不織布入石膏板面が該当範囲となる。
245	(【建築】切抜設計書P-117) 塗装工事で天井 UC塗り木面 B種素地ごしらえB種がの計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	切抜設計書が誤記のため、設計図を正とする。
246	(【建築】切抜設計書P-120) 内装工事で鋼製床組部点検口の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	A35 1階平面詳細図：ロビー(1-1)・執務室(1-1)の破線の四角に対角線の記号で示す箇所が該当範囲となる。
247	(【建築】切抜設計書P-124) 内装工事でライニング 壁 シーディング せっこうボード 張り t12.5素地突付け工法の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	WCカウンター式洗面器のライニング 壁面が該当範囲となる。
248	(【建築】切抜設計書P-124) 内装工事でライニング 壁 メラミン化粧板張りの計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	床置き洋風便所ライニング 及び小便器ライニング が該当範囲となる。
249	(【建築】切抜設計書P-126) 内装工事で天井 ロックウール化粧吸音板張り t9.0 軽鉄直張の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	可動パネル式防煙垂壁面が該当範囲となる。
250	(【建築】切抜設計書P-126) 内装工事で下り壁 ロックウール化粧吸音板張り t9.0 下地せっこうボード t12.5共の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	廊下(3-3)、廊下(4-2)の天井見切り(A)が該当範囲となる。
251	(【建築】切抜設計書P-134) 仕上エント工事で屋内 視覚障害者用タイルステンレス製300角t1.8 線状突起の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	フロアボード が該当範囲となる。
252	(【建築】切抜設計書P-136) 仕上エント工事でライニング 甲板メラミンボード t20×150の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	3階シャワー室のライニング が該当範囲となる。
253	(【建築】切抜設計書P-139) 仕上エント工事で出隅・入隅増張りの計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	ビット階 蓄熱層各層の床壁入隅取り合い部が該当範囲となる。
254	(【建築】切抜設計書P-139) 仕上エント工事で曲がり振れ止め固定アンカー設置の計上記載がありますが、該当範囲が不明です。御指示下さい。	A-39 ビット階平面詳細図・蓄熱層詳細図のA通水管VU200 Φの振れ止め用のアンカーである。 A通水管VU200 Φ 1 か所あたりアンカーを 4 か所見込むこと。

255	<p>下記項目の数量差異について、積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>◆タイル工事(P-52)/壁タイル張り <input type="checkbox"/>金抜数量：331 m² <input type="checkbox"/>積算数量：92 m²</p> <p>◆木工事(P-51)/議場壁 木軸組 集成材 50×90 <input type="checkbox"/>金抜数量：298 m² <input type="checkbox"/>積算数量：91.3 m²</p> <p>◆金属工事(P-62)/ 軽量鉄骨天井下地 19形 ふろこ1.5m未満 下地張りなし @300 イサト共 <input type="checkbox"/>金抜数量：742 m² <input type="checkbox"/>積算数量：9.3 m²</p> <p>◆金属工事(P-62)/ 天井放射パネル取付下地 <input type="checkbox"/>金抜数量：1010 m² <input type="checkbox"/>積算数量：762 m²</p> <p>◆左官工事(P-74)/床コンクリート直均し仕上げ 金ごて 直均し仕上げ <input type="checkbox"/>金抜数量：1088 m² <input type="checkbox"/>積算数量：705 m²</p> <p>◆ガラス工事(P-112)/姿見 <input type="checkbox"/>金抜数量：4 個所 <input type="checkbox"/>積算数量：2 個所</p> <p>◆内装工事(P-124)/ 壁 せっこうボード張り t12.5+12.5 素地 継目処理工法 <input type="checkbox"/>金抜数量：43.5 m² <input type="checkbox"/>積算数量：768 m²</p> <p>◆内装工事(P-125)/ 天井 化粧せっこうボード張り <input type="checkbox"/>金抜数量：394 m² <input type="checkbox"/>積算数量：214 m²</p> <p>◆内装工事(P-126)/ 屋根スラブ裏 断熱材A <input type="checkbox"/>金抜数量：1199 m² <input type="checkbox"/>積算数量：217 m²</p> <p>◆内装工事(P-129)/ 四周処理 <input type="checkbox"/>金抜数量：4337 m² <input type="checkbox"/>積算数量：8417 m²</p> <p>◆仕上エント工事(P-134)/ 屋内 視覚障害者用タイル ステンレス製300角t1.8 点状突起 <input type="checkbox"/>金抜数量：138 個所 <input type="checkbox"/>積算数量：118 個所</p> <p>◆仕上エント工事(P-139)/ 通気管防水納め <input type="checkbox"/>金抜数量：71 個所 <input type="checkbox"/>積算数量：15 個所</p> <p>◆仕上エント工事(P-139)/ 連通管防水納め <input type="checkbox"/>金抜数量：142 個所 <input type="checkbox"/>積算数量：11 個所</p> <p>◆仕上エント工事(P-139)/ 下部排水管防水納め <input type="checkbox"/>金抜数量：71 個所 <input type="checkbox"/>積算数量：11 個所</p>	<p>図面を正とする。</p>
256	<p>(【建築】切抜設計書P-144、B01) 手動横型ブラインド(BD-20)の箇所数が下記の様に相違しています。ブラインド等配置図-平面図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>【建築】切抜設計書P-144：3ヶ所 <input type="checkbox"/>B01 ブラインド等配置図-平面図：9ヶ所 <input type="checkbox"/>B01 ブラインド等配置図-リスト：8ヶ所</p>	<p>よろしい。</p>
257	<p>(【建築】切抜設計書P-144、B01) 手動ロールスクリーン(RS-2)の箇所数が下記の様に相違しています。ブラインド等配置図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>【建築】切抜設計書P-144：18ヶ所 <input type="checkbox"/>B01 ブラインド等配置図-平面図：22ヶ所 <input type="checkbox"/>B01 ブラインド等配置図-リスト：18ヶ所</p>	<p>B01 ブラインド等配置図-平面図：22ヶ所を正とする。</p>

258	<p>(【建築】切抜設計書P-144、B01)</p> <p>手動ロールシャッター(RS-10)の箇所数が下記の様に相違しています。ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ等配置図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>【建築】切抜設計書P-144：2ヶ所</p> <p><input type="checkbox"/>B01ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ等配置図-平面図：3ヶ所</p> <p><input type="checkbox"/>B01ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ等配置図-リスト：3ヶ所</p>	よろしい。															
259	<p>(【建築】切抜設計書P-66、A107)</p> <p>受付案内サイン取付下地金物の仕様が下記の様に相違しています。部分詳細図内部(3)を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>【建築】切抜設計書P-66：C-60*30*10*2.3 L900</p> <p><input type="checkbox"/>部分詳細図内部(3)-[3Di-11]不燃木ﾊﾞｰ詳細図：C-100*50*20*2.3 L970</p>	よろしい。															
260	<p>(【建築】切抜設計書P-159、F01)</p> <p>(議場家具)-発言台の寸法が下記の様に相違しています。議場家具詳細図(1)を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p><input type="checkbox"/>【建築】切抜設計書P-159：W600</p> <p><input type="checkbox"/>議場家具詳細図(1)：W1400</p>	よろしい。															
261	<p>(【建築】設計書切抜きP-77.A-06)</p> <p>金属製建具工事でアルミ製建具の性能が気密性:A-4、水密性:W-5と記載されていますが特記仕様書ではB種の為、耐風圧性:S-5、気密性:A-3、水密性:W-4で考えて宜しいでしょうか。気密性:A-4、水密性:W-5の根拠がありましたら御指示下さい。</p>	特記仕様書の通りB種の為、耐風圧性:S-5、気密性:A-4、水密性:W-5と考えること。根拠は標準仕様書(令和4年版)を参照すること。															
262	<p>(【建築】設計書切抜きP-97.A-46)</p> <p>金属製建具工事ででトリプルの建具符号がTB1-1(TB1)の様に符号が二つありますが、トリプル詳細図では()カッコ内の符号の記載のみです。建具符号はトリプル詳細図に記載の符号で見込んで宜しいでしょうか。</p>	よろしい。															
263	<p>(【建築】設計書切抜きP-81.83)</p> <p>金属製建具工事で鋼製建具の(外部)に簡易気密性:A-3、(内部)に簡易気密性:A-3、遮音性:T-3の記載がありますが、図面に記載がありません。仕様の根拠を御指示下さい。</p>	<p>以下と考えること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋼製建具(外部)：特記なき限り簡易気密性:A-3 ⇒A-51建具共通事項・凡例の共通事項/扉/3)及び標準仕様書16.4.2(2)(ア)より ・鋼製建具(内部)：図面を正とする。 															
264	<p>(【建築】設計書切抜きP-125.A-51)</p> <p>内装工事(内部)で化粧塩ビシート張り鋼製建具面79.2m²が計上されておりますが、建具共通事項・凡例【扉】(29)に化粧シート貼は工場貼りとする記載がある為、内装工事で別計上は不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしい。															
265	<p>(【建築】設計書切抜きP-47.108)</p> <p>下記項目の該当範囲が不明です。御指示下さい。</p> <p>◆防水工事</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/>建具廻りシーリング</td> <td>MS-2 20×10</td> <td>9.8 m</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>建具廻りシーリング</td> <td>MS-2 25×10</td> <td>158.0 m</td> </tr> </table> <p>◆ガラス工事</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/>フロート板ガラス</td> <td>t5.0 4.45㎡以下</td> <td>13.3 ㎡</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>フロート板ガラス</td> <td>t8.0 4.45㎡以下</td> <td>0.1 ㎡</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>強化ガラス</td> <td>t5.0 2.0㎡以下</td> <td>4.9 ㎡</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 建具廻りシーリング	MS-2 20×10	9.8 m	<input type="checkbox"/> 建具廻りシーリング	MS-2 25×10	158.0 m	<input type="checkbox"/> フロート板ガラス	t5.0 4.45㎡以下	13.3 ㎡	<input type="checkbox"/> フロート板ガラス	t8.0 4.45㎡以下	0.1 ㎡	<input type="checkbox"/> 強化ガラス	t5.0 2.0㎡以下	4.9 ㎡	建具表・建具詳細図を参照すること。
<input type="checkbox"/> 建具廻りシーリング	MS-2 20×10	9.8 m															
<input type="checkbox"/> 建具廻りシーリング	MS-2 25×10	158.0 m															
<input type="checkbox"/> フロート板ガラス	t5.0 4.45㎡以下	13.3 ㎡															
<input type="checkbox"/> フロート板ガラス	t8.0 4.45㎡以下	0.1 ㎡															
<input type="checkbox"/> 強化ガラス	t5.0 2.0㎡以下	4.9 ㎡															
266	<p>下記項目の数量差異について、積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>◆防水工事(P-47)/建具廻りシーリング MS-2 25*10ダブル</p> <p><input type="checkbox"/>金抜数量：1079.0m</p> <p><input type="checkbox"/>積算数量：156 m</p> <p>◆左官工事(P-74)/建具周囲モルタル充填 内部建具</p> <p><input type="checkbox"/>金抜数量：266 m</p> <p><input type="checkbox"/>積算数量：169 m (【追加項目】床 コンクリート直押E 沓摺等補修の数量)</p> <p>◆ガラス工事(P-107)/外部 飛散防止フィルム貼</p> <p><input type="checkbox"/>金抜数量：54.3 ㎡</p> <p><input type="checkbox"/>積算数量：17.6 ㎡</p>	図面を正とする。															

267	(A-57・58・59・68・69、P-81・82・86・90・104・105) 建具の寸法が下記の様に相違しています。 建具表・詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 建具表・詳細図 【建築】設計書金抜き <input type="checkbox"/> SD2-19: H2000 H2100 <input type="checkbox"/> SDR-1: H800 H600 <input type="checkbox"/> SDR-3: H600 H800 <input type="checkbox"/> SF4-1: W900 W4665 <input type="checkbox"/> SP1-5: W3389 W5115 <input type="checkbox"/> SP2-4a: W7338 W7557	よろしい。
268	(A-60、P-91) SW1-10の建具形状が下記の様に相違しています。 建具表(6)SSW.SUFを正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 建具表(6)SSW.SUF:FIX窓 <input type="checkbox"/> 【建築】設計書金抜き:引違い窓	よろしい。
269	(A-58、P-93・94) 建具遮音性の有無が下記の様に相違しています。 建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 建具表 【建築】設計書金抜き <input type="checkbox"/> LSD3-1: T-2 記載無し <input type="checkbox"/> LSD3-2: 記載無し T-2	よろしい。
270	(【建築】切抜設計書P-168) (2)構内舗装で仮設砂利敷きの計上記載がありますが、新庁舎建設工事に該当する範囲が見当たりません。範囲を御指示下さい。	回廊(1-1)の部分となる。 L-01 外構舗装平面図の砂利敷き(仮設)の備考欄の②外構工事(1工区)を①庁舎棟工区(新庁舎建設工事)と読み替えること。
271	(【建築】切抜設計書P-170.171、L-05) (3)屋外排水で集水桝及びU字側溝ゲレフグ 蓋の耐荷重が下記の様に記載されていますが、外構詳細図(1)に該当する耐荷重が見当たりません。誤記と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 集水桝: T-2 <input type="checkbox"/> U字側溝 U240×H240: T-2 <input type="checkbox"/> U字側溝 U240×H330: T-20	NO188と同じ
272	(【建築】切抜設計書P-172、L-03) (4)植栽で中木支柱が下記の様に相違しています。外構植栽平面図の竹1本支柱を正と考えて宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 切抜設計書: 単木添え木型支柱 <input type="checkbox"/> 外構植栽平面図: 竹1本支柱	単木添え木型支柱を正とする。
273	(【建築】切抜設計書P-172) (4)植栽で地被植栽基盤にt800の計上記載がありますが、図面に記載がありません。客土厚t800を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
274	(【建築】切抜設計書P-176.A-98) (5)工作物[1]オイルタンクで止水板、防水シートの仕様が記載されていますが、オイルタンク詳細図に記載がありません。切抜設計書の通りに見込んで宜しいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 止水板: 水膨張系止水材 10×20 <input type="checkbox"/> 防水シート: ポリエチレンフィルム t0.15	A-19 オイルタンク詳細図のA-A矢視図、B-B矢視図に記載している。
275	(【建築】切抜設計書P-180~182) (5)工作物[3]耐震性貯水槽で数量については緊急遮断弁部分も含まれていると考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
276	(【建築】切抜設計書P-183~188) (5)[4]渡り廊下1・[5]渡り廊下2で鉄筋にスクラップ 控除が計上されていませんが、渡り廊下もオイルタンク等に倣い見込んで宜しいでしょうか。	よろしい。
277	(【建築】切抜設計書P-195) 発生材処理で建設発生土が一般土と建設汚泥に分かれてありますが、外構工事に関する土は一般土と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。 (地盤改良残土を汚泥としている。)
278	(【建築】切抜設計書P-195) 発生材処理で建設発生土の数量は舗装から工作物までの外構工事に関する残土処分が含まれると考えて宜しいでしょうか。	よろしい。

279	<p>(【建築】切抜設計書)</p> <p>切抜設計書で造成工事に関する切土・盛土の項目が見当たりません。計上されている部分を御指示下さい。</p>	<p>図面を正とする。</p>
280	<p>下記項目で切抜設計書と数量差異があります。積算数量を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>◆構内舗装(P-168)/歩行者舗装-1 <input type="checkbox"/>切抜数量：506 m² <input type="checkbox"/>積算数量：485 m²</p> <p>◆構内舗装(P-168)/歩行者舗装-2 <input type="checkbox"/>切抜数量：350 m² <input type="checkbox"/>積算数量：298 m²</p> <p>◆構内舗装(P-168)/縁石 <input type="checkbox"/>切抜数量：47.6 m <input type="checkbox"/>積算数量：180 m</p> <p>◆屋外排水(P-171)/U字側溝 U240×H240 <input type="checkbox"/>切抜数量：44.5 m <input type="checkbox"/>積算数量：9.1 m</p> <p>◆屋外排水(P-171)/U字側溝 U240×H330 <input type="checkbox"/>切抜数量：5.1 m <input type="checkbox"/>積算数量：34.9 m</p> <p>◆屋外排水(P-171)/排水管 VP管 φ150 <input type="checkbox"/>切抜数量：29.4 m <input type="checkbox"/>積算数量：11.7 m</p> <p>◆屋外排水(P-171)/排水管 VP管 φ200 <input type="checkbox"/>切抜数量：66.2 m <input type="checkbox"/>積算数量：31.3 m</p> <p>◆工作物 [1]オイルタンク(P-174)/根切り、埋戻し <根切り> <input type="checkbox"/>切抜数量：65.4 m³ <input type="checkbox"/>積算数量：42.9 m³ <埋戻し> <input type="checkbox"/>切抜数量：34.8 m³ <input type="checkbox"/>積算数量：17.9 m³</p> <p>◆工作物 [2]オイル配管(P177)/異形鉄筋 D10 <input type="checkbox"/>切抜数量：82.7 kg <input type="checkbox"/>積算数量：95.6 kg</p> <p>◆工作物 [3]耐震性貯水槽(P-180)/根切り、埋戻し <根切り> <input type="checkbox"/>切抜数量：61.6 m³ <input type="checkbox"/>積算数量：39.7 m³ <埋戻し> <input type="checkbox"/>切抜数量：49.6 m³ <input type="checkbox"/>積算数量：29.5 m³</p> <p>◆工作物 [5]渡り廊下2(P-186)/根切り、埋戻し <根切り> <input type="checkbox"/>切抜数量：36.9 m³ <input type="checkbox"/>積算数量：16.9 m³ <埋戻し> <input type="checkbox"/>切抜数量：31.8 m³ <input type="checkbox"/>積算数量：13.5 m³</p> <p>◆工作物 [6]その他(P-190)/手摺基礎 <input type="checkbox"/>切抜数量：18 箇所 <input type="checkbox"/>積算数量：なし(図面記載なし)</p> <p>◆発生材処理 (P-195.196)/建設発生土運搬、建設発生土処分 <input type="checkbox"/>切抜数量：540 m³ <input type="checkbox"/>積算数量：255 m³</p>	<p>図面を正とする。</p>

281	今回の公告文に記載の「ZEB Ready」仕様に係る申請費用等については、すべて発注者側によるものとし、工事費の対象外として宜しいでしょうか？	「ZEB Ready」使用に係る申請費用等は不要なため、工事対象外とする。 なお、各種申請等に係る図面・写真等の資料提出が必要な場合は提供・協力すること。
284	今回の公告文には記載がありませんが公共建築工事の発注として「週休2日促進工事」の適用と考え“労務補正”を考慮した予定価格の設定及び積算と考えて宜しいでしょうか？	よろしい。
285	今回の公告文に記載の内訳書の提出について任意様式によるA4サイズでPDF形式での提出と指示されていますが、中項目までの内訳書の提出と考えて宜しいでしょうか？それとも細目別内訳まで提出となるのでしょうかご教示ください。	中項目内訳まで提出とする。
286	工事費内訳明細書（金抜き内訳明細書）に凡例表示がありませんので、積算の時期が不明です。物価資料等その他採用された単価の適用時期についてご教示ください。	以下の通り。 施工単価・コスト情報 2024年 夏号 積算資料・建設物価 2024年6月号
287	工事費内訳明細書（金抜き内訳明細書）の「細目別内訳」には、各工種にわたって“別紙明細”による1式計上と思われる項目が多数ありますが、1式に含まれる工事の具体的な項目・数量が不明です。“別紙明細書”の公開はできないでしょうか？	工事内訳書について、単価の構成がわかるものは公開不可。 上記以外はホームページに公開する。
288	工事費内訳明細書（金抜き内訳明細書）の最終項目にある「積上共通仮設費」の細目別内訳において、“揚重機械損料-クレーン120t 9.5ヶ月”及び“施工検査-1式”等の項目が含まれていますがすべて「指定仮設」の適用となるのでしょうか？ A-01図 特記仕様書（建築新営）その1 1 各章共通事項 7-1 施工の見本等に記載の項目が当該“施工検査”の取扱いと思われます。明細として間違いはないでしょうか？ 同 2 仮設工事では、5 指定仮設等の適用は“※図示”とされています。特に揚重機械器具等は、工種毎の施工計画により油圧クレーン等の利用も含めて創意工夫が必要と思われますが「任意仮設」と「指定仮設」の識別を改めてご教示ください。	A-00-1現場説明書 (B)1.により指定仮設とするが、現場状況及び施工方法により変更が必要な場合は協議により実施すること。 A-01 特記仕様書(建築新営)その1 1各省共通事項7-1施工の見本等を正とする。 A-00-1現場説明書 (B)1.により指定仮設とするが、現場状況及び施工方法により変更が必要な場合は協議により実施すること。
289	(A-010) 現況図にて現在西面に乗り入れ口がありますが、完成後は、歩道としての改修は別途工事と考えてよろしいでしょうか。	本工事とする。
290	(A-010) 南面仮囲いにて第一庁舎への防音対策を行うと記入されていますが、仮囲いの防音対策ではなく、外部足場+防音シート貼りと考えてよろしいでしょうか。	よろしい。
291	(A-010) 現場事務所、仮設事務所等は道路挟んで東面に記入されていますが、こちらの敷地は全面無料借用と考えてよろしいでしょうか。又、有償の場合は金額のご提示をお願いします。	全面無料借用とする。
292	(A-010) 現場にて下請け業者の駐車場が約50台ほど必要になりますが、現場事務所の隣の敷地等借用可能でしょうか。又、可能でしたら金額のご提示をお願いします。	今後、受注者との協議による。
293	(K-001) 既存外構解体図において着工後すぐに全てを解体できないと思いますが、各所それぞれの解体可能時期をご指示願います。又、本工事ではなく外構別途工事時に施工した方がよろしい部分もあるかと思えます。解体範囲、時期の確定をお願いします。	K-01既存外構撤去図に記載した、本工事での撤去対象物は着工後ただちに撤去可能。ただし、A-10現況図・仮設計画図の仮設計画図に示す文化センターへのバリアフリーなルートの確保など、文化センターや既存第1庁舎への出入りに配慮した上での撤去を適宜計画すること。

294	(K-001) 数量明細では、汚水処理槽1か所W4960×H3450となっていますが、形状構造・設備機器及び接続配線等不明です。解体範囲、解体時期詳細及び構造図等のご教授をお願いします。	汚水処理槽の図面はないため、下記程度を想定すること。 解体時期はNO6と同じ。 □RC埋設躯体 ・外形寸法 W4960×D3450×H2500程度 ・RC 6面(側壁・底版・天板)仕様： W300 縦筋D16@150、横筋D16@200ダブル ・鋳鉄製マンホール蓋600Φ×5か所、450Φ×3か所 ・浄化槽本体及び配管配線等は撤去済 □ブロー室躯体 ・外形寸法W4960×D2000×H1500程度 ・RC 6面(側壁・底版・屋根スラブ)仕様： W250 縦筋D16@150、横筋D16@200ダブル ・ブロー関係設備及び配管配線等は撤去済
295	(K-001) 数量明細では、植栽撤去(低木) H1000以下、122㎡となっていますが、汚水処理槽撤去に伴う支障木(中・高木H=4~5m程) 8本程度が計上されていません。今回の工事対象と考えてよろしいでしょうか。	よろしい。
296	(K-001) 数量明細では、建物北側駐車場で縁石撤去数量が計上されていませんが、今回の工事対象外と考えてよろしいでしょうか。	今回の工事で撤去すること。
297	(A-010) 門壁・門扉撤去は外構工事1、2工区の範囲となっていますが、今回工事対象外と考えてよろしいでしょうか。	よろしい。
298	(A-010) 記念碑・憲章碑は今回工事で移設となっていますが、今回工事対象でしょうか。又、対象であれば移設時期、移設場所のご指示をお願いします。又、記念碑等の移設場所によっては、地業工事等必要かと思います。移設場所の仕上げ等も含めご指示願います。	別途工事となる。
299	(MA-001、113) R階 屋上露出部のダクトの材質が不明です。 屋上露出部のダクトの材質は「ガルバリウム鋼板」としてよろしいでしょうか。	材質は亜鉛鉄板とし、国交省仕様に則りさび止め塗装とする。
300	(MA-101 MA-117、125 MA-143) PCH-2-2 冷温水二次ポンプの台数が機器表及び数量表では1台となっておりますが、系統図及び平面図、自動制御図では2台となっております。平面図を正とし、PCH-2-2は2台としてよろしいでしょうか。	PCH-2-2は2台とする。 (40φ×170L/min×23mのポンプが2台)
301	(図面番号 MA-102、106 MA-107) OHU-1-1の風量は機器表では2,050m ³ /hですが、制気口及びVAV,CAVの合計風量は2,150m ³ /hとなっております。 OHU-1-1の風量は2,150m ³ /hとしてよろしいでしょうか。	2,050m ³ /hを正とする。 CAV1-3および授乳室への給気(OHU-1-1系統)は中止とする。(3種換気とする)
302	(MA-103) EHP-2-2,3-3,3,5,4-3の室外機の仕様が「更新用」、ACP-1-1の仕様が「寒冷地仕様」となっております。室外機の仕様は備考欄の通り「更新用」及び「寒冷地仕様」としてよろしいでしょうか。	よろしい。
303	(MA-103) エアコンの遮断弁装置は備考欄に記載のある機器のみ見込むものとし、記載のない部屋は遮断弁、感知器、警報器等も不要としてよろしいでしょうか。	よろしい。
304	(MA-106、107 MA-109~111) 1階執務室(1-1)、フリースペース、プロムナード、2階執務室(2-1)、3階ロビー(3-1)、4階廊下(4-2)、傍聴ロビーのパス用制気口が制気口リストではGVまたはCLとなっておりますが、平面図では全て金網となっております。平面図を正とし、金網としてよろしいでしょうか。 (金網のサイズはダクトサイズと同じとします。)	平面図を正とし、金網とする。 また金網のサイズはダクトサイズと同じとする。
305	(MA-106、109 MA-110) 1階相談室(1-2)、プロムナード、廊下(1-2)、2階ラウンジ(2-1)、ロビー(2-1)、ラウンジ(2-2)の金網のサイズが制気口リストと平面図で異なっております。金網のサイズは平面図ダクトサイズと同じとしてよろしいでしょうか。	ダクトサイズと同じとする。

306	(MA-106、109) 1階授乳室のOHU-1-1系統のSA用制気口の個数が制気口リストと平面図で異なります。平面図を正とし制気口の個数は1個としてよろしいでしょうか。	質疑No3記載の通り、OHU-1-1系統のSA制気口は中止とする。
307	(MA-106) 2階執務室(2-1)のバス用制気口の風量が、ダクトが接続している打合せ室(2-1)のバス用制気口と異なっております。執務室(2-1)の制気口の風量は180m3/hとし、制気口及びボックスのサイズは打合せ室(2-1)と同じとしてよろしいでしょうか。	風量は180m3/hとし、制気口およびボックスのサイズは打合せ室(2-1)と同じとする。
308	(MA-106、111) 3階相談室(3-1),(3-2)のOHU-2-1系統の制気口リストでの仕様がGVS (RA) となっております。OHU-2-1は全てSA系統なので、制気口の形状はVHSとしてよろしいでしょうか。 (サイズ、内貼等は制気口リスト通りとします。)	VHSとする。
309	(MA-106、111) 3階教育長室、応接室、市長室、副市長室のOHU-3-1系統の制気口の形状が制気口リストと平面図で異なっております。 (制気口リスト：CL、平面図：GV)上記の部屋の制気口はバス以外全てCLとなっておりますので、制気口リストを正としてよろしいでしょうか。	制気口リストを正とする。
310	(MA-106、111) 3階ロビー(3-1)のEHP-3-1aのRA用の金網が制気口リスト及び平面図に記載されておられません。EHP-3-1a用の金網300φ及びダクトを追加してよろしいでしょうか。 (ダクトサイズ及び金網のサイズと台数は同じ風量のEHP-3-1bと同じとします。)	EHP-3-1bと同じダクトサイズ・金網サイズで追加すること。
311	(MA-107、111) 3階廊下(3-1)に制気口リストに記載のない制気口が記載されております。 (OHU-3-1 風量500m3/h)以下の制気口を追加としてよろしいでしょうか 廊下(3-1) VHS300x300 BOX500x500x400H 内貼GW25t	提示の通り追加すること。
312	(MA-107、112) 4階廊下4-2の制気口の仕様が制気口リストと平面図で異なっております(OHU-2-1系統 制気口リスト：VHS、平面図：CL)平面図を正とし、CLの仕様は以下の通りとしてよろしいでしょうか。 CL#1000L、BOX 1,200x200x350H (内貼GW25t)	制気口リストを正とする。
313	(MA-109、115) 2階 MR(2-3)の3階への立上げ縦ダクトに詳細図ではSFDを設置となっておりますが、面図ではFDを設置となっております。 平面図を正とし、FDとしてよろしいでしょうか。	FDとする。
314	(MA-201) 屋内消火栓用扉の工事区分は「建築工事」となっておりますが、その場合所轄の消防署へ確認が必要となります。屋内消火栓用扉は見積図の通り「建築工事」としてよろしいでしょうか。 (許可が取れない場合は扉は本工事とし、別途料金が発生します。)	建築工事とする。(扉は造作するわけではなく、既製品(認定品)を建築工事で設置する)
315	(MA-202) 屋内消火栓 消火水槽内の配管の管種は消火用硬質塩化ビニル 外面被覆鋼管 (SGP-VS) としてよろしいでしょうか	よろしい。
316	(A-08、MA-202) 機械設備図 特記仕様書(2)では、給水納付金等が本工事となっておりますが、意匠図 工事区分表では水道加入金が別途となっております 工事区分表を正とし、水道納付金は別途としてよろしいでしょうか。	別途とする。
317	(A-08、MA-201) ハンドドライヤーの工事区分が「別途工事」となっておりますが、衛生器具表では本工事となっております。衛生器具表通り、ハンドドライヤーは本工事としてよろしいでしょうか。	ハンドドライヤーは本工事とする。
318	(MA-106 MA-109) 1階 執務室(1-1)と書庫(1-1)・倉庫(1-4)のバス用制気口が、制気口リストではGVとの記載ですが平面図ではクリンプ金網のシンボルで記載されております。平面図のシンボルを優先して、クリンプ金網で宜しいでしょうか。また、クリンプ金網のサイズはダクトサイズとして宜しいでしょうか。	クリンプ金網とする。サイズはダクトサイズと同じとする。

319	(MA-106 MA-109) 1階 フリースペース(1-2)と倉庫 (1-5) のバス用制気口が制気口リストではCLとの記載ですが、平面図ではクリンプ金網のシンボルで記載されています。平面図のシンボルを優先して、クリンプ金網で宜しいでしょうか。また、クリンプ金網のサイズはダクトサイズとして宜しいでしょうか。	クリンプ金網とする。サイズはダクトサイズと同じとする。
320	(MA-106 MA-109) 1階 プロムナードと相談室 (1-2) のバス用制気口が制気口リストではGVとの記載ですが、平面図ではクリンプ金網のシンボルで記載されています。平面図のシンボルを優先して、クリンプ金網で宜しいでしょうか。また、クリンプ金網のサイズはダクトサイズとして宜しいでしょうか。	クリンプ金網とする。サイズはダクトサイズと同じとする。
321	(MA-106 MA-110) 2階 執務室(2-1)と書庫 (2-1、2) ・倉庫 (2-2) のバス用制気口が制気口リストではGVとの記載ですが平面図ではクリンプ金網のシンボルで記載されています。平面図のシンボルを優先して、クリンプ金網で宜しいでしょうか。またクリンプ金網のサイズはダクトサイズとして宜しいでしょうか。	クリンプ金網とする。サイズはダクトサイズと同じとする。
322	(MA-107 MA-111) 3階 ロビー(3-1)と相談室 (3-1、2) のバス用制気口が、制気口リストではGVとの記載ですが平面図ではクリンプ金網のシンボルで記載されています。平面図のシンボルを優先して、クリンプ金網で宜しいでしょうか。またクリンプ金網のサイズはダクトサイズとして宜しいでしょうか。	クリンプ金網とする。サイズはダクトサイズと同じとする。
323	(MA-107 MA-112) 4階 廊下(4-2)と正副議長・議会事務局室のバス用制気口が、制気口リストではGV、CLとの記載ですが平面図ではクリンプ金網のシンボルで記載されています。平面図のシンボルを優先して、クリンプ金網で宜しいでしょうか。またクリンプ金網のサイズはダクトサイズとして宜しいでしょうか。	クリンプ金網とする。サイズはダクトサイズと同じとする。
324	(MA-106 109) 4階 傍聴ロビーと委員会室 (4-1、2) のバス用制気口が、制気口リストではGVとの記載ですが平面図ではクリンプ金網のシンボルで記載されています。面図のシンボルを優先して、クリンプ金網で宜しいでしょうか。またクリンプ金網のサイズはダクトサイズとして宜しいでしょうか。	クリンプ金網とする。サイズはダクトサイズと同じとする。
325	(MA-106 109) 1階 廊下(1-2)とHWC (1-1) のバス用金網のサイズが制気口リストと平面図で異なっております。平面図のダクトサイズと同じで宜しいでしょうか。	平面図のダクトサイズと同じとする。
326	(MA-106、110) 2階 ラウンジ(2-1)、ロビー(2-1)、ラウンジ(2-2)のRA用金網 (EHP-2-1a用)のサイズが、制気口リストと平面図で異なっております。平面図のダクトサイズと同じで宜しいでしょうか。	平面図のダクトサイズと同じとする。
327	(MA-106 MA-107) 制気口リストでカムライン(CL)は風量調整機能付きとありますが#4以下のカムラインには風量調整機能付きの製品がありません。風量調整機能付きを優先し、#4以下の制気口をブリーズラインで代用と考えて宜しいでしょうか。	風量調整機能は無しとしてCLとする。
328	(MA-106 MA-107) 制気口リストでカムライン(CL)は風量調整機能+フィルター付きとありますが、#4以下では、カムライン及びブリーズラインでも対応製品がありません。#4以下の制気口については対応可能な#5で代用と考えて宜しいですか。	CLは上記の通り風量調整機能は無しとする。#4からフィルター製作が可能と考えられるため、フィルター付きCLで#3以下のものは#4で代用すること。